

Q.Technote **TN-A442**

取扱説明書 v2.0



FCC(アメリカ連邦通信委員会) による無線周波数干渉に関する報告書

本製品はFCC 準拠のテストによってクラスBのコンピュータ機器に関する規制要件に基づいて所定の試験が実施され、これに適合するものと認定されています。

FCC は電子装置から発生する有害な電波からユーザーの安全を図ることを目的に設定されています。

本製品から放射される無線周波数はその他の機器の動作に影響を与える可能性があります。本製品の使用によって生じた如何なる障害も免責とさせていただきます。

本製品がラジオあるいはテレビの受信妨害を引き起こす場合、次の項目をご確認ください。

- ・受信アンテナの向きまたは配置を再調整してください。
- ・本製品とラジオ/テレビの距離を離してください。
- ・専門の技術者または電気設備士に調査を依頼してください。

商標情報

“Technote”および“TN-A442”は有限会社海連、スリーエーシステムズ有限会社、ポトス株式会社の登録商標です。

“Microsoft”と“Windows ” はマイクロソフト株式会社の登録商標です。

“Pentium”はインテル株式会社の登録商標です。

“Adobe”と“Acrobat”はアドビ・システムズの登録商標です。

他のすべての商標はそれぞれの所有者が保持する商標です。

著作権表示

本書に含まれる内容のすべては有限会社 海連が著作権を有しております。

本書に含まれる内容の全体もしくは一部を、無断で複製、あるいは頒布する行為を一切禁じます。

注：このマニュアルの中で言及された仕様は予告なしに変更することがあります。

ソフト開発キット (Software Development kit) の配布

SDK の提供をご希望の顧客はメールにて当社までお問い合わせください。

なお、状況によってご期待に沿えない場合があります。ご了承ください。

問い合わせ先：

有限会社 海連 E-Mail : info @ kairen.co.jp

目次

FCC(アメリカ連邦通信委員会) による無線周波数干渉に関する報告書.....	2
商標情報.....	2
著作権表示.....	2
ソフト開発キット (SOFTWARE DEVELOPMENT KIT) の配布.....	2
目次.....	3
1. はじめに.....	8
あらゆるシーンで活躍が期待できる、近未来型の文房具.....	8
1.1 「TECHNOTE」で広がる、“手書き”の可能性.....	8
バックアップ.....	8
配布&複写.....	8
整理&保管.....	8
記入用紙&アンケート.....	8
1.2 パッケージ内容.....	9
1.3 システム必要条件.....	9
1.4 下記のオプション品は各販売代理店また弊社にてお求め頂けます。.....	9
2. 各部の名称と準備.....	10
フロントパネル.....	10
ライティングエリア.....	10
パネル上部.....	10
書込可能な範囲 (用紙サイズ).....	10
2.1 本体に電池をセットする.....	11
2.2 デジタルインクペン給電ケーブルの使用方法.....	12
デジタルインクペンに電池をセットする場合.....	12
2.3 本体に用紙/メモ帳をセットする.....	13
2.4 本体内蔵のフラッシュメモリーについて.....	13
3. TN-A442 本体の操作ガイド.....	14
3.1 フロントパネルのボタン名称と機能.....	14

3.2	本体の起動.....	14
3.3	デジタルインクペンのテスト	15
3.4	LCD パネルの名称	16
3.5	新規作成（空白ページに移動）	17
3.6	過去のデジタルページを修正する.....	17
3.7	デジタルページの削除	18
3.8	各種設定.....	19
	メニュー画面の表示	19
	回転.....	20
	文書ブックの変更.....	21
	FORMAT : 内蔵メモリの初期化.....	22
	VERSION : バージョン情報の表示.....	23
	ペンタブレットの自動起動の設定	23
	省電力オプション	24
	ステータスメニュー	25
	本製品の電源オフ	25
4.	<u>THE DIGITAL ORGANIZER の操作ガイド.....</u>	<u>26</u>
4.1	インストールランチャーの実行.....	26
4.2	THE DIGITAL ORGANIZER のインストール.....	28
4.3	本体をパソコンに接続する.....	31
4.4	デジタルページの転送	32
4.4.1	「NOTE NOTIFIER」でデジタルページを転送する	32
3-1.	コピーファイル.....	33
3-2.	移動ファイル	33
3-3.	既存ファイルの置換	33
4.	ファイル転送が終了後、「THE DIGITAL ORGANIZER」が起動します。	33
4.4.2	「NOTE NOTIFIER」を使わずに DNT ファイルをパソコンに転送する	34
4.4.3	「THE DIGITAL ORGANIZER」にデジタルページ（DNT ファイル）をインポート する	35
4.5	ペンタブレット・モード.....	36
4.6	THE DIGITAL ORGANIZER の名称.....	37
5.	<u>THE DIGITAL ORGANIZER メニューバー.....</u>	<u>38</u>

5.1 ファイル (F)	38
5.2 編集 (E)	39
5.3 表示 (V)	40
5.4 挿入 (I)	40
5.5 ヘルプ (A)	40
<u>6. THE DIGITAL ORGANIZER 標準バー</u>	<u>41</u>
<u>7. THE DIGITAL ORGANIZER ページバー</u>	<u>45</u>
<u>8. THE DIGITAL ORGANIZER ツールバー</u>	<u>48</u>
<u>9. 定型文書の印刷項目と手書きデータの同時保存：背景の挿入.....</u>	<u>50</u>
はじめに	50
1.1 定型文書の用意.....	50
1.2 用意した「定型文書」を「JPG 画像」に変換する	51
1.3 定型文書の JPG 画像を「背景」に設定する	51
1.4 「定型文書」をセットして「TECHNOTE」に記入する	52
1.5 「DIGITAL ORGANIZER」にデジタルデータを取り込む.....	52
1.6 名前をつけて保存する	52
<u>10. トラブルシューティング</u>	<u>53</u>
<u>「MYSCRIPT NOTES 2.0 FOR U -体験版-」をご利用のお客様へ.....</u>	<u>56</u>
<u>「MYSCRIPT NOTES 2.0 FOR U -正規版-」をご利用のお客様へ.....</u>	<u>56</u>
商標情報	57
著作権表示.....	57
<u>1. MYSCRIPT NOTES.....</u>	<u>58</u>
1.1 MYSCRIPT NOTES とは	58
1.2 システム必要条件	58
1.3 ソフトウェアのインストール	59

1.4	ソフトウェアの起動	61
1.5	「MYSCRIPT NOTES 2.0 FOR U - 体験版 - 」の試用	61
1.6	「MYSCRIPT NOTES 2.0 FOR U - 正規版 - 」の購入と登録	62
2.	MYSCRIPT NOTES の説明.....	63
2.1	MYSCRIPT NOTES アプリケーションウィンドウ	63
2.2	ノートファイルを開く	64
2.3	ノートファイルの保存	65
2.4	ノートファイルを印刷する.....	65
2.5	ページの閲覧	66
2.6	拡大 / 縮小 / ノートのページサイズの調整.....	67
3.	変換.....	68
3.1	ノートファイルをテキスト形式で変換する.....	68
3.2	変換モードの管理.....	69
3.3	変換した文書を他のアプリケーションで使用する.....	71
3.4	グローバル変換設定の定義.....	72
3.5	変換エリアの管理.....	74
3.6	認識設定ファイルの管理.....	75
3.7	変換した内容の正確さをアップする秘訣.....	79
3.8	図形を描く時の秘訣.....	80
3.9	表作成の秘訣	81
4.	訂正.....	82
4.1	変換したノートを編集する.....	82
4.2	パーソナル辞書の管理	84
4.3	「図形 & 文字」タブで文字をコピーする	87
4.4	「リッチテキスト」タブでテキストの選択及びコピー	88
4.5	形状の編集	89
5.	MYSCRIPT エディター.....	90
5.1	MYSCRIPT エディターの紹介	90

5.2	MYSRIPT エディターを使って手書き文書を編集する	91
巻末	94
お取り扱いの注意事項		95
用語の解説.....		95
技術仕様		97

1. はじめに

あらゆるシーンで活躍が期待できる、近未来型の文房具

Technote (TN-A442/ TN-A401/ TN-A501 シリーズ) は、用紙に記入した手書きの文章や図表などを、内蔵メモリに保存できる、画期的なデジタルノートパッドです。記入した手書きデータは、パソコンへ USB 経由で転送が可能、付属アプリケーションソフトで編集・加工・テキスト変換ができます。また本製品はプラグ & プレイに対応したペンタブレットとして、パソコンの USB ポートに接続するだけで利用できます。

多機能なデジタルノートパッドとして、高性能なペンタブレットとして 1 台 2 役！

1.1 「Technote」で広がる、“手書き”の可能性

バックアップ

「報告書」「検査票」「受付申込書」「伝言メモ」「議事録」などの手書き帳票や「イラストの下絵」「子供のお絵かき」に本製品を使用すれば、記入しながら電子化されるので、万が一の原本の紛失に備える事ができます。また、付属ソフトを利用することで、パソコンでの加工や編集、さらに文字認識テキスト変換もお手軽です。

配布 & 複写

「議事録」「業務連絡」「伝言メモ」に本製品を使用すればデジタルデータとして E メールに添付できるので、距離の遠近を問わずスピーディな情報の配布が可能です。またパソコンを使ってカンタンに複写ができます。

整理 & 保管

「学校の講義」「ゼミ活動」などで本製品を活用すれば、課目、時限ごとの整理が容易にできます。肥大化する紙媒体と比べて、デジタルデータなら検索、保管、持ち運びに便利です。

記入用紙 & アンケート

アンケートや受付用紙などの定型文書を本製品で記入することで、原本のバックアップ、デジタル管理が同時に行えます。また、文字認識テキスト変換ソフトを活用することで、再入力の手間が省け、業務効率の改善に貢献します。

黒、青、赤のマルチカラー認識

Technote の対応デジタルインクペンは黒色だけではなく、オプション品の赤色、青色があります。文章は黒色ペン、重要なポイントは赤色ペンで、補足は青色ペンで書き込み、それをパソコンで再現できます。文章の表現力に優れた Technote ならではの機能です！

1.2 パッケージ内容

- ・ TN-A442 本体 × 1
- ・ デジタルインクペン（黒） × 1
- ・ デジタルインクペン給電ケーブル × 1 本
- ・ テクノートロゴ入り A4 用紙 10 枚
- ・ USB ケーブル × 1 本 TypeA-miniB
- ・ 編集ソフト CD-ROM × 1 枚
- ・ 各種表対応手書き文字認識ソフトウェア
[HCC Basic]90 日体験版 CD-ROM × 1 枚
[HCC Professional]90 日体験版 CD-ROM × 1 枚
- ・ 本体用単 4 アルカリ電池 × 4 本
- ・ メンテナンス用ドライバ × 1 本
- ・ 本体電池カバー固定用ネジ × 1 個
- ・ デジタルインクペン用替え芯 黒 × 3 本（本体裏面に収納）
- ・ 製品取扱説明書
- ・ 各種表対応手書き文字認識ソフト
[HCC Basic]操作マニュアル
[HCC Professional]操作マニュアル
- ・ 取扱クイックガイド（オプション品オーダーシート付）
- ・ ソフトウェア活用クイックガイド
- ・ 製品保証書

1.3 システム必要条件

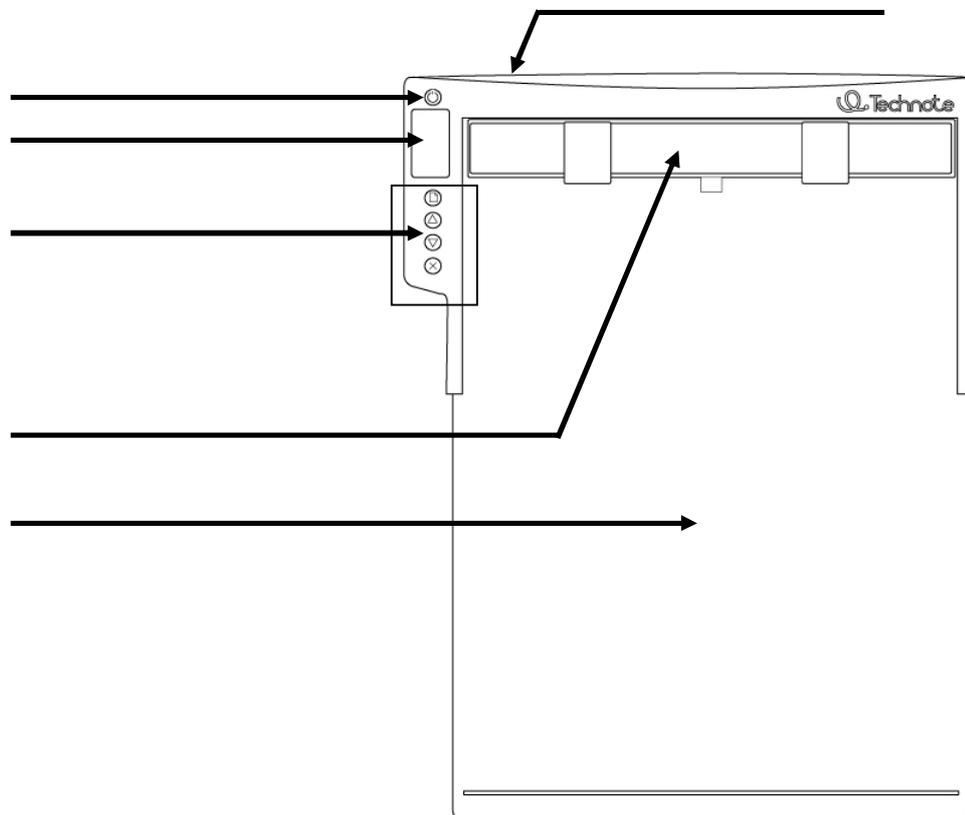
OS	Windows XP、VISTA
CPU	Pentium 500MHz 以上
メインメモリー	128MB 以上推奨
ハードディスク	32MB 以上の空き容量
インターフェース準拠規格	USB

1.4 下記のオプション品は各販売代理店また弊社にてお求め頂けます。

詳しくはホームページまでご参照ください。

- ・ デジタルインクペン 各色（黒、赤、青）
- ・ デジタルインクペン用ボタン電池(PR48)
- ・ デジタルインクペン用替え芯 各色（黒、赤、青）
- ・ 専用キャリングケース

2. 各部の名称と準備



フロントパネル

電源ボタン LCD パネル 機能ボタン

ライティングエリア

紙留め

ライティングエリア

パネル上部

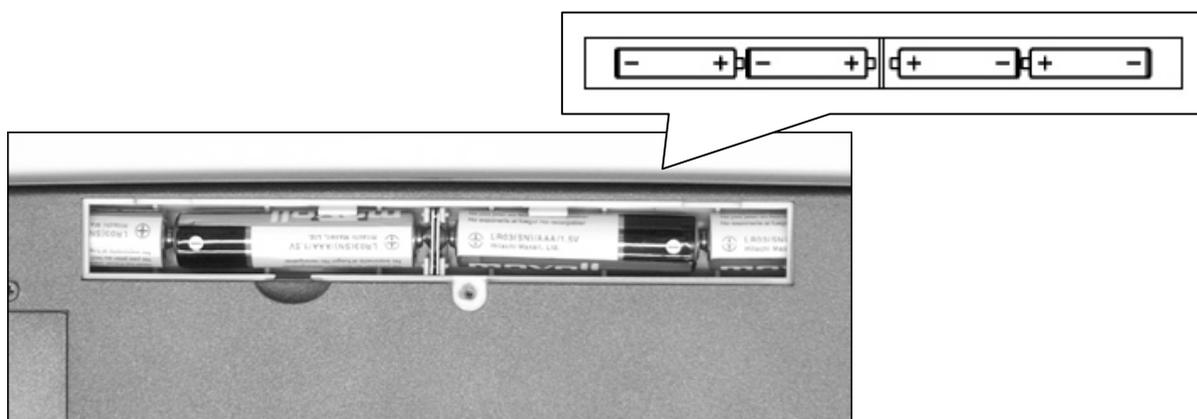
miniUSB ポート

書込可能な範囲（用紙サイズ）

TN-A442：約 204 x 263 mm（A4 用紙サイズが目安）

2.1 本体に電池をセットする

1. 本体裏面のバッテリーカバーを開きます。
2. カバー裏面の配置図に合わせて、単 4 乾電池をセットします。
3. バッテリーカバーを元通りに閉じます。



電池交換の際は、本体の電源がオフであることをご確認ください。
本体の電源がオンの状態になっていると、ファイルエラーの原因になります。



規格外の乾電池を使用すると、ファイルエラーの原因となる恐れがあります。
また、新しい乾電池と古い乾電池の同時使用はお止めください。



単 4 アルカリ乾電池を用いた連続使用時間の目安は約 100 時間です。ご利用方法によっては使用時間が短くなる場合もあります。

2.2 デジタルインクペン給電ケーブルの使用方法

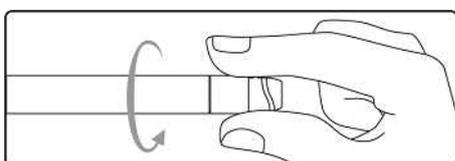
デジタルインクペン給電ケーブルを使用することより、動作に必要な電源を Technote 本体から供給可能。使用するデジタルペンの尻軸をはずし、ボタン電池を挿入しないで、ケーブル付の尻軸時計回りに回して固定します。デジタルインクペン給電ケーブルに接続できるデジタルペンは黒、赤、青のいずれの 1 色のみです。ほかの色のデジタルペンをも使用したい場合、下記のようにボタン電池(PR48：別売り)をセットしてください。



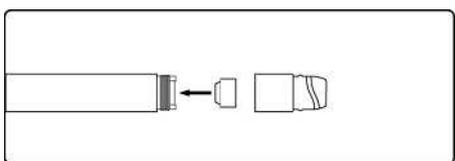
Technote 上面の miniUSB ポートにデジタルインクペン用電源ケーブルの USB コネクタを挿し込みます。

デジタルインクペンに電池をセットする場合

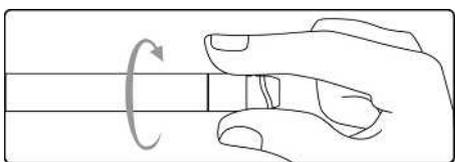
デジタルインクペンの尻軸を回して取り外してボタン電池（別売り）をセットします。



1. 尻軸をしっかりと押えて、反時計回りに尻軸を回します。



2. 極性に注意してボタン電池をセットします。



3. 尻軸をしっかりと押えて、時計回りに尻軸を回して固定します。



規格外の乾電池を使用すると、故障の原因となる恐れがあります。



デジタルインクペンの電池寿命の目安は約 1 ヶ月間です。使用しない期間も消費されます。デジタルページの編集集中にストロークラインのかすれ、形状の違いが認められた場合、電池を交換する事を推奨します。



デジタルインクペン用給電ケーブルを固定するときは、ケーブルを無理に引っ張ったりすると破損する恐れがあります。

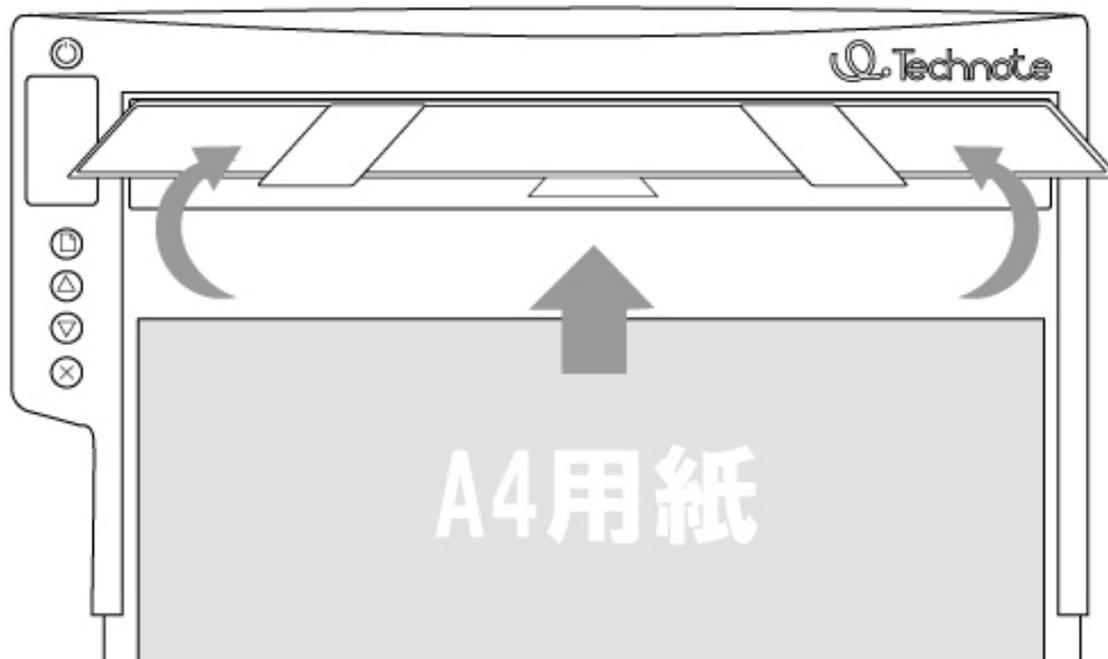
2.3 本体に用紙/メモ帳をセットする

A4 サイズの用紙をセットする

紙留め中央のつまみを持って、紙留めを開きます。

上部までしっかりと用紙をセットして、紙留めをとじます。

A4 用紙 10 枚程度固定することが出来ます。



オリジナルメモ帳をセットする

標準 A4 サイズ(210×297mm 厚さ 7mm まで)の用紙をセットします。セットする時は、メモ帳の台紙部分を本体と一緒に、キャリングケースの右ポケットに差し込みます。



使用する用紙は A4 サイズですが、本体の書込可能範囲は 204×263mm です。事前に本体にシルク印刷された「Working Area」をご確認ください。

2.4 本体内蔵のフラッシュメモリーについて

ユーザーの書き込んだ内容は「DNT ファイル」として、本体内蔵のフラッシュメモリー(容量 32MB)に記憶されます。

また本体内蔵のフラッシュメモリーは、リムーバブルディスクとして OS に認識されます。

3. TN-A442 本体の操作ガイド

3.1 フロントパネルのボタン名称と機能

記号	本体の操作		各種設定	
	POWER	電源オン/オフ 3 秒間押し続ける	MENU	メニュー画面の開始
	NEW	新規ページ作成	ENTER	項目の選択 変更後の確定
	UP	前のページに戻る	UP	項目の移動 数値の増減
	DOWN	次のページに進む	DOWN	
	DELETE	ページの消去	ESC	キャンセル メニュー画面の終了

3.2 本体の起動



LCD パネルにスマイリーマークが表示されるまで、
 ボタンを 3 秒間押し続けます。

その後、LCD パネルにステータス情報が表示されます。

3.3 デジタルインクペンのテスト

デジタルインクペンの使用前に、必ずデジタルインクペン給電ケーブルまたはボタン電池をデジタルインクペンにセットしてください。（2.2 項参照）



本体にデジタルインクペンを近づけてください。LCD パネルに白いペンアイコンが表示されます。白いペンアイコンが表示されている距離が、読み取り可能な本体とデジタルインクペンの距離になります。



本体にセットしたメモ帳にデジタルインクペンが接触すると LCD パネルに黒いペンアイコンが表示されます。黒いペンアイコンの表示中に描いたストロークラインは、本体内蔵のフラッシュメモリーに記録されます。

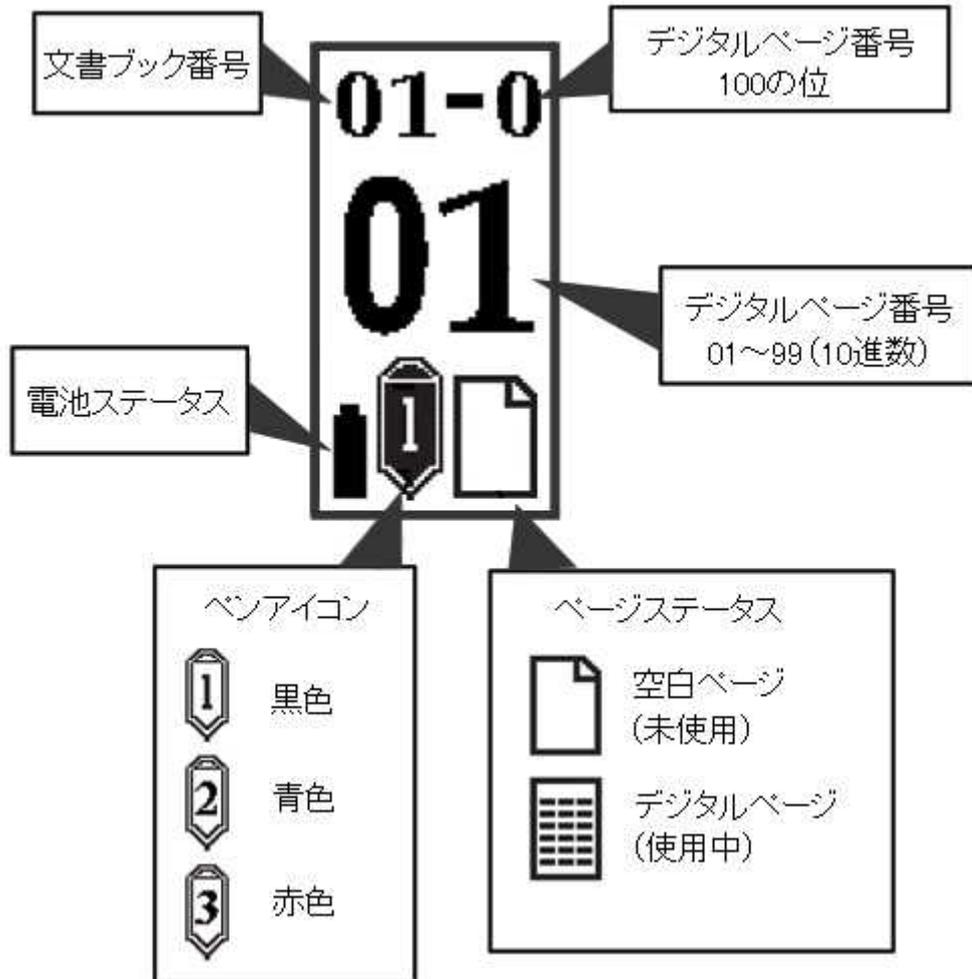


本体にセットしたメモ帳にデジタルインクペンが接触しても、LCD パネルに黒いペンアイコンが表示されない時は、電池切れまたは電池の挿入ミスが考えられます。



デジタルインクペン以外の筆記用具で記入した内容は、内蔵メモリーに記録することは出来ませんのでご注意ください。

3.4 LCD パネルの名称



LCD パネルの中心に 2 桁の大きな数字で現在のページ番号を表示します。3 桁を超えるページ番号は、百の位の数字を LCD パネル上段(ハイフンの右横)に表示します。



入力中の文書ブック番号は LCD パネル上段(ハイフンの左横)に 2 桁の数字で表示され、最大 99 個まで管理できます。ひとつの文書ブックには 199 枚のデジタルページを収納できます。しかし内蔵メモリの容量以上に保存することはできません。例えば内蔵メモリが 32MB の場合、総数 約 511 ページの保存が目安となります。

3.5 新規作成（空白ページに移動）

記入用紙を改ページする時には  ボタンを押して、本体に記録するデジタルページと連動してください。



記入用紙に LCD パネルの文書ブック番号とページ番号を記載すれば、記入用紙とデジタルページの同期が取れて、追記や修正などの作業が容易になります。



使用中のデジタルページに誤って上書きしないために、LCD パネルのページステータスを必ずご確認ください。新規ページ(空白ページ)の場合、LCD パネルに、白いページアイコンが表示されます。



LCD パネルに黒いページアイコンが表示されるデジタルページは、ストロークラインを記録したデジタルページです。上書きにはご注意ください。

3.6 過去のデジタルページを修正する

過去のデジタルページに校正や追記を行なう場合、LCD パネルに目的のページ番号が表示されるまで  ボタンを押してください。

現在のデジタルページに戻るには  ボタンを押してください。

3.7 デジタルページの削除

指定のデジタルページを削除する時は、  ボタンを押してください。



『DELETE』ボタンを押すと、LCDパネルにアイコンが表示されます。削除を続行する場合は『YES』に、削除を中止する場合は『NO』に該当するボタンを押してください。



削除したデジタルページを復元することはできません。誤って削除しないように十分ご注意ください。

また記入用紙とデジタルページのページ番号の同期を行っている場合、その点に留意して削除を行なってください。



付属編集アプリケーション『The Digital Organizer』を使って不要なデジタルページを削除する事を推奨します。

3.8 各種設定

メニュー画面の表示

本体の起動中に  ボタンを押すと、LCD パネルにメニュー画面が表示されます。

LCD パネルにメニュー画面が表示された状態で  または  ボタンを押して、項目の選択を行います。



回転：本製品にセットしたメモ帳の向きや用途にあわせて、横長または縦長、あるいは逆さまなど、配置を切り換えて使用することが可能です。
注) 既にストロークラインを記録したデジタルページは、途中から配置を変更する事はできません。



文書ブック：デジタルページを保存する文書ブックを変更します。
Format：本体内蔵メモリを初期化して全てのデータを削除します。
VERSION：本製品のバージョン情報を表示します。
タブレット：ペンタブレット・モード（パソコン接続時のみ）の有効・無効を設定します。



省電力オプション：自動シャットダウンまでの時間を設定します。
自動シャットダウンを活用する事で電池容量を節約できます。
初期設定値は 15 分間です。

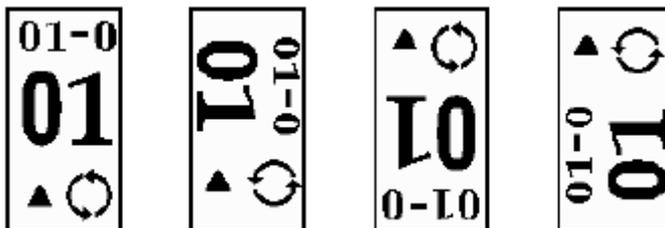


ステータス：本体の電池寿命とメモリ残量を確認できます。

回転

1.  を選択して  ボタンを押します。

2.  を押すと 90 度ずつ時計回りに LCD パネルの表示が回転します。
配置する向きに合わせてください。



3.  ボタンを押すと向きが確定され、メニュー画面に戻ります。

文書ブックの変更

1.  を選択して  ボタンを押します。

2.  を選択して  ボタンを押して確定します。

3.  または  ボタンを押して

-  文書ブックの番号を変更します。

4.  ボタンを押すと番号が確定され、メニュー画面に戻ります。

Format : 内蔵メモリの初期化

1.  を選択して  ボタンを押します。

2.  を選択して  ボタンを押します。

3. 「YES」「NO」を選択し  ボタンを押して初期化を実行できます。

「YES」の場合・・・本体内蔵のフラッシュメモリのデータは全て初期化され、自動的にシャットダウンします。

「NO」の場合・・・メニュー画面に戻ります。



初期化したデータは復元できませんので、ご注意ください。

本製品の内蔵メモリを Windows (OS) 上でフォーマットしないでください。

不具合の原因となります。

VERSION : バージョン情報の表示

1.  を選択して  ボタンを押します。

2.  を選択して  ボタンを押します。

3. 本製品のファームウェアのバージョンを表示します。  ボタンを押すとメニュー画面に戻ります。

ペンタブレットの自動起動の設定

1.  を選択して  ボタンを押します。

2.  を選択して  ボタンを押します。

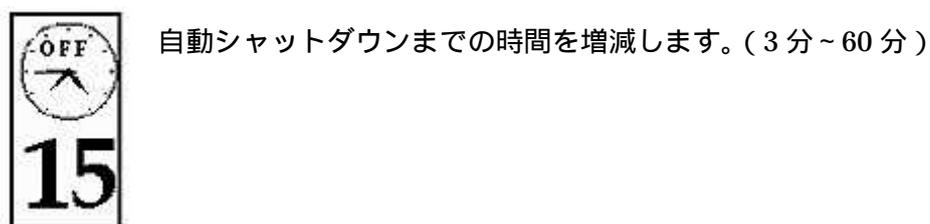
3. オン・オフを選択して  ボタンを押します。

「オン」の場合・・・パソコンに接続すると、ペンタブレット・モードが自動起動します。
「オフ」の場合・・・パソコンに接続しても、ペンタブレット・モードは起動しません。

省電力オプション

1.  を選択して  ボタンを押します。

2.  または  ボタンを押して



アイドリング状態で設定した時間が経過すると、自動的に電源をシャットダウンします。
初期設定値は15分間です。

3.  ボタンを押すとタイマーが確定され、メニュー画面に戻ります。

ステータスメニュー

1.  を選択して  ボタンを押して確定します。

2.  ステータス情報を表示します。
-  内蔵メモリの残り容量をパーセンテージで表示
 -  乾電池の残量をパーセンテージで表示

3.  ボタンを押すとメニュー画面に戻ります。

本製品の電源オフ

-   ボタンを約3秒間押し続けると電源がオフになります。

4. The Digital Organizer の操作ガイド

本アプリケーションで、パソコンに転送したデジタルページの閲覧、編集、加筆、メール送信を行います。他のファイル形式（JPG、BMP、PDF）でファイル保存も可能です。

4.1 インストールランチャーの実行

1. パソコンの電源を入れ、Windows を起動します。
2. Windows 起動後に CD-ROM ドライブにインストール CD を挿入します。Auto Run が有効な場合、インストールランチャーが自動的に起動します。該当する項目のボタンをクリックします。



インストールランチャーが起動しない場合、
〔マイコンピュータ > インストール CD > launch.exe 〕をクリックして
セットアップウィザードを実行します。

クリックするとインストールがはじまります。

Technote でデジタル保存 (拡張子.dnt) した手書き情報を編集する専用ソフトウェア「The Digital Organizer」のインストールがはじまります。

「The Digital Organizer」の取扱説明書を開く (PDF 形式)

Technote 本体および「The Digital Organizer」の取扱説明書が開きます。本書と同じ内容です。

クリックするとライセンス版のインストールがはじまります。

Technote の保存ファイル (.dnt) に対応した手書き文字認識変換ソフト「MyScript Notes For U」のインストールがはじまります。

手書き文字を認識してプレーンテキストに変換します。本ソフトウェアをインストールする場合、CD に添付されたプロダクトキーを登録してください。

詳しい内容は別紙「MyScript Notes For U」の取扱説明書をご確認ください。

クリックすると30日体験版のインストールがはじまります。

Vision Object 社文字認識変換ソフト「MyScript Notes For U」の体験版です。

30日間無料お試しいただけますが、継続してご使用になる場合、正規ライセンスをご購入ください。

詳しい内容は後述の「MyScript Notes For U」の取扱説明書をご確認ください。

「MyScript Notes For U」の取扱説明書を開く (PDF 形式)

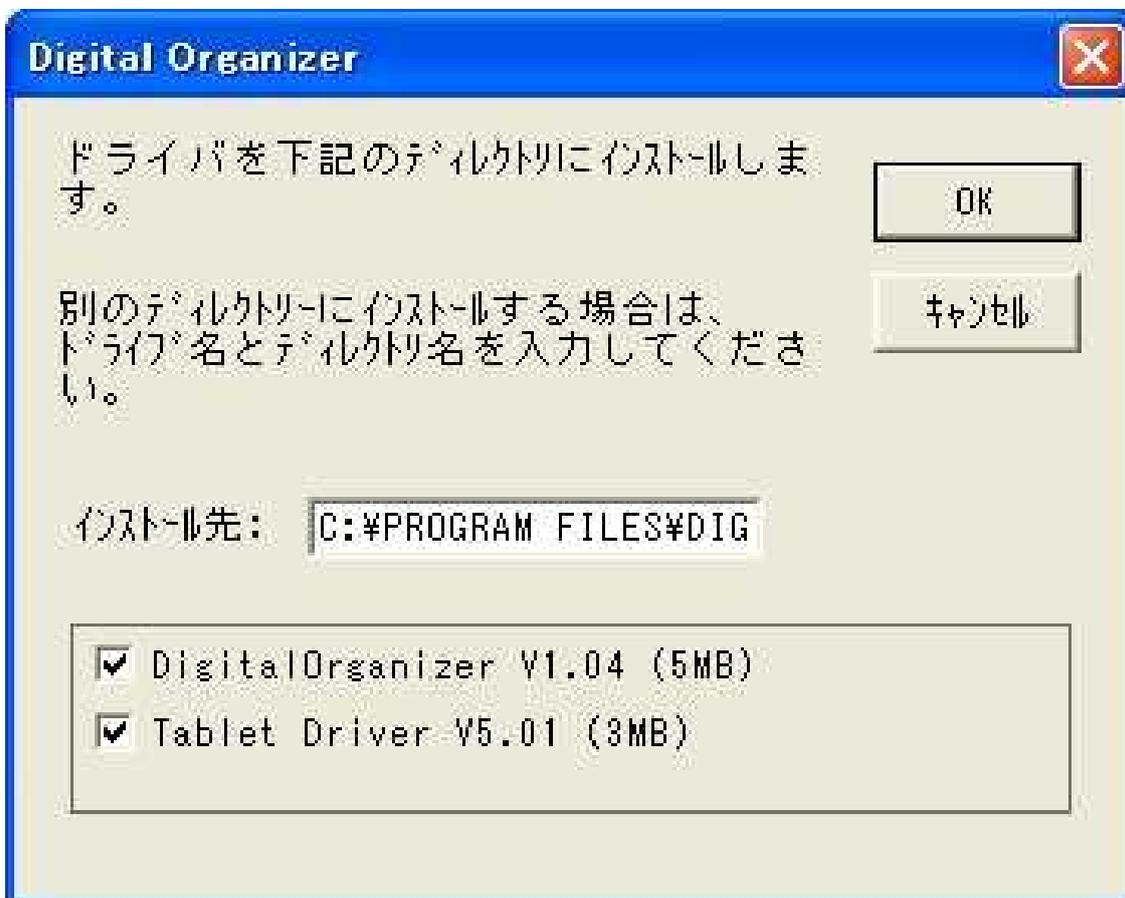
「MyScript Notes For U」の取扱説明書が開きます。

EXIT

インストールランチャーを終了します。

4.2 The Digital Organizer のインストール

1. インストールランチャーの Technote 編集ソフト DigitalOrganizer 「クリックするとインストールが始まります」 ボタンをクリックすると「Digital Organizer」セットアップウィザードウィンドウが表示されます。(下図参照)



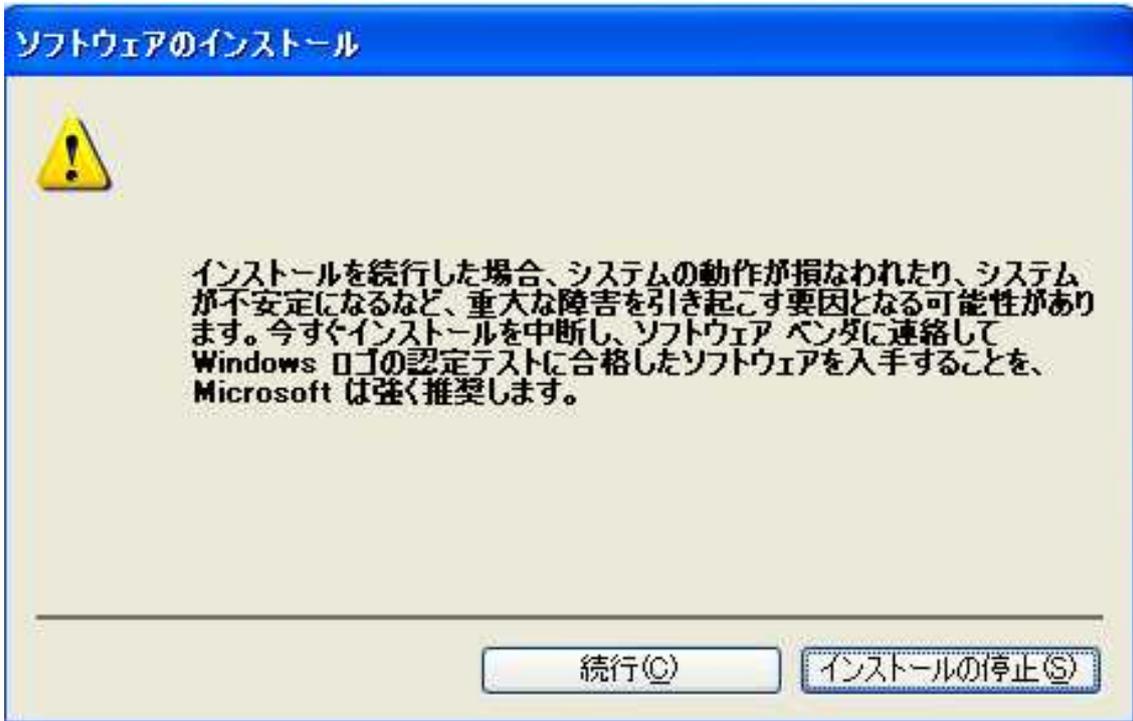
『 DigitalOrganizer V1.04 (5MB) 』にチェックが入っていることを確認して[OK]をクリックします。

注) Technote をペンタブレットとしてご利用になる場合、『 Tablet Driver V5.01(3MB) 』にチェックを入れてください。ご利用にならない場合はチェックをはずしてください。

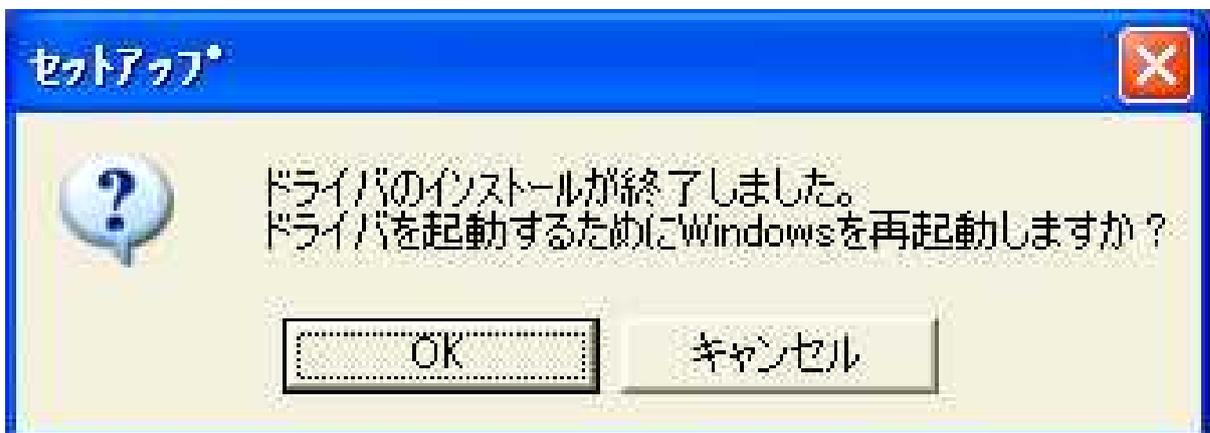


Technote をペンタブレットとしてご利用になる場合、他社製ペンタブレットと一緒に使用することはできません。タブレットドライバが干渉して動作不良の原因となる恐れがあります。必ずどちらかのタブレットドライバを削除してご利用ください。

2. [続行 (C)]を選択します。



3. 自動的にインストール作業が進行します。しばらくたってインストールが完了したら下図のウィンドウが表示されますので、[OK]をクリックします。



4. [OK]を選択してパソコンを再起動してください。

以上で「The Digital Organizer」のインストールは完了しました。



The Digital Organizer のインストールと同時に、デジタルページを保存するフォルダ〔 Note Files 〕が「マイドキュメント」内に自動作成されます。



本製品に記録したデジタルページをパソコンに保存する時、保存先として指定されるフォルダです。削除・変更を行うと正常にインポートできない場合がありますので、ご注意ください。

4.3 本体をパソコンに接続する

付属の USB 転送ケーブルを取り出し、小さい方のコネクタを本製品に接続、大きい方のコネクタをパソコンの USB ポートに接続します。



パソコンと接続が確立すると、本体の LCD パネルに USB コネクタが表示されます。USB 接続中はペンタブレット・モードになります。(4.4 項参照)



ペンタブレット・モード中はデジタルページの作成をできません。



本製品の内蔵メモリをストレージデバイスとして使用しないでください。故障の原因になります。

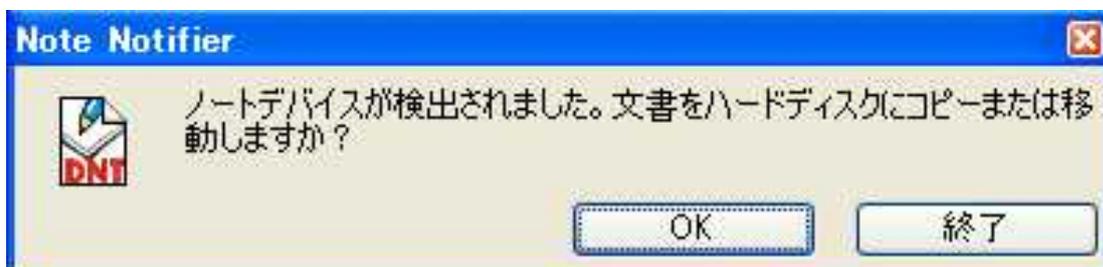


USB 接続の状態では本製品は乾電池から給電しません。USB ケーブルを経由してパソコンから給電します。(バスパワー方式)

4.4 デジタルページの転送

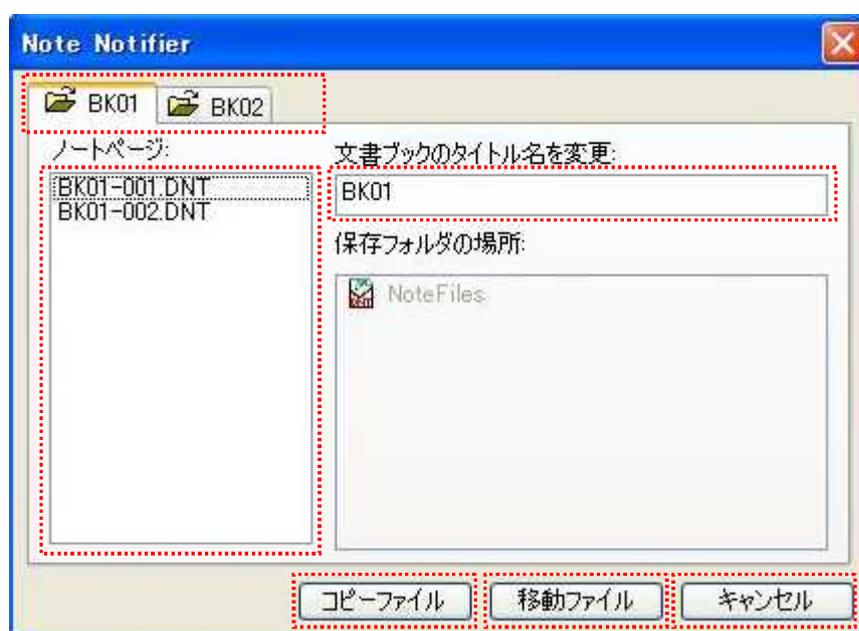
4.4.1 「Note Notifier」でデジタルページを転送する

1. Technote はパソコンに接続すると「ノートデバイス」として検出されます。



* 文書とはデジタルページ（拡張子 dnt ファイル）を指しています。

2. [OK]をクリックすると「Note Notifier」ウィンドウが開きます。



ページタブ : デジタルページを収納した文書ブックの番号が表示されます

ノートページ : 文書ブックに収納されているデジタルページのリストです。

文書ブックのタイトル名を変更 : 文書ブックのタイトル名を変更します。転送後、文書ブック名のフォルダが作成されます。

コピーファイル : パソコンにファイルをコピーします。

移動ファイル : パソコンにファイル転送して、内蔵メモリからファイルを削除します。

キャンセル : ファイル転送を中止します。

3-1. コピーファイル

パソコンに内蔵メモリの DNT ファイルをコピー転送します。Technote 内のコピー元 DNT ファイルは内蔵メモリにも保存されています。

3-2. 移動ファイル

パソコンに内蔵メモリの DNT ファイルを移動転送します。Technote 内の移動元 DNT ファイルは内蔵メモリから削除されますのでご注意ください。

3-3. 既存ファイルの置換

保存先（パソコン）に同一ファイル名がある場合、「既存ファイルの置換」ウィンドウが展開します。



置換 : 転送中のファイルと置き換えます。

スキップ : このファイルの転送をキャンセルして次のファイルの転送に進みます。

すべて置換する : 置換を転送中の全てのファイルに適用します。

終了 : ファイルの転送を中断します。

ファイル名を変更 : ファイル名を変更して転送します。

4. ファイル転送が終了後、「The Digital Organizer」が起動します。



この作業では任意のファイルだけを転送することはできません。

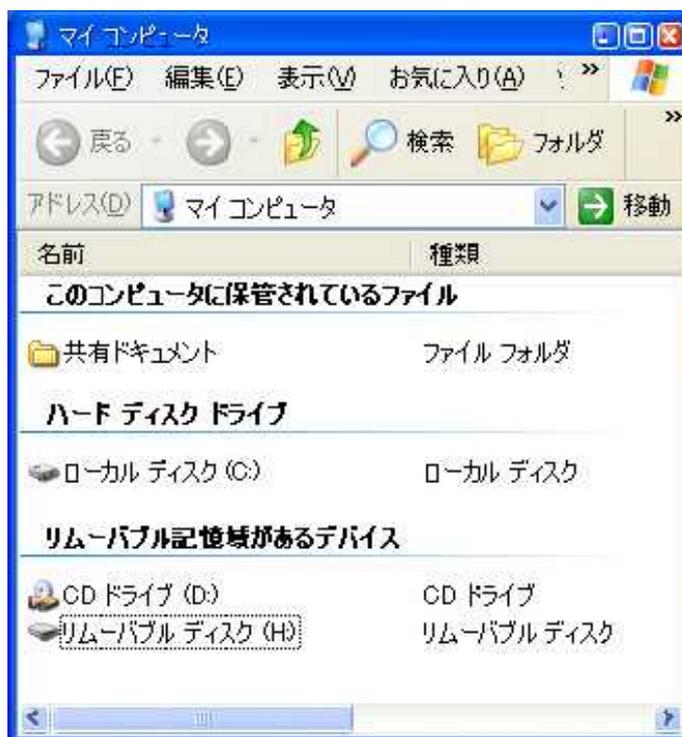
すべての文書ブック、ファイルを転送します。



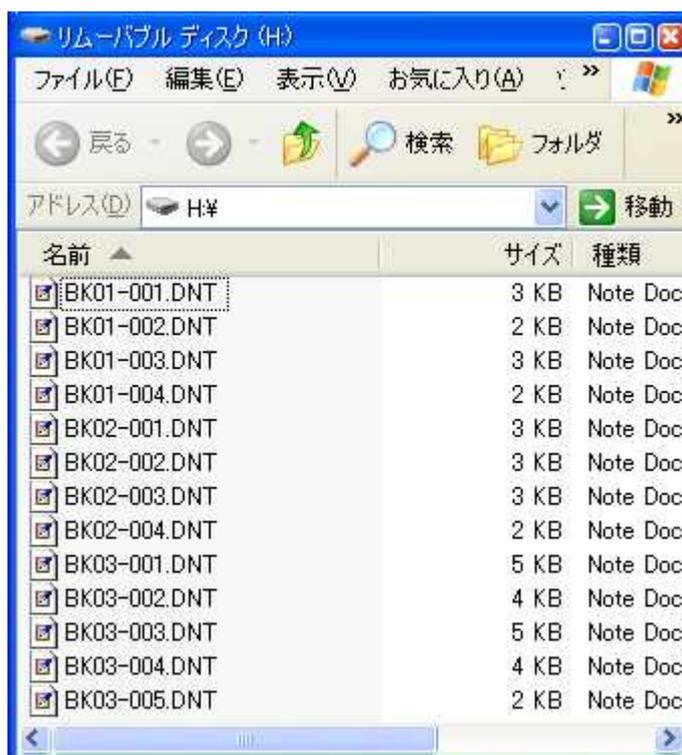
変更した文書ブックのタイトル名は保存されません。次回の接続時にはBK01、BK02・・・と、初期値に戻ります。

4.4.2 「Note Notifier」を使わずに DNT ファイルをパソコンに転送する

1. Technote 本体をパソコンに接続すると内蔵メモリは「リムーバブルディスク」として検出されます。



2. 「リムーバブルディスク」を開き、パソコン上の任意のフォルダにドラッグ&ドロップで移動してください。



4.4.3 「The Digital Organizer」にデジタルページ（DNT ファイル）をインポートする

本アプリケーションの左側上段、フォルダウィンドウからデジタルページのインポートが可能です。

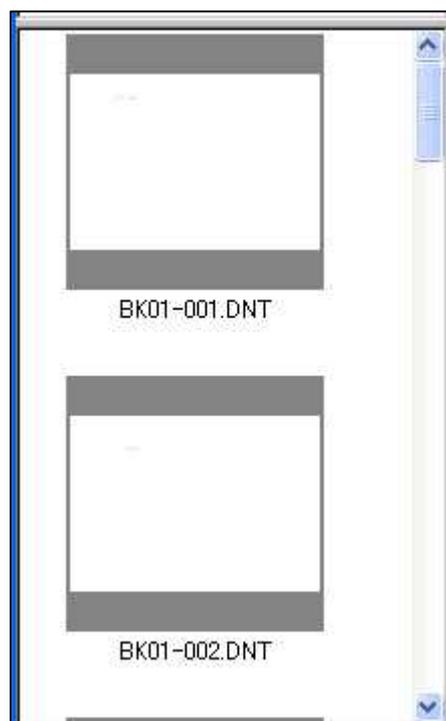
1. ウィンドウ内の「リムーバブルディスク」をクリックします。



2. 本アプリケーションの左側下段、ファイルウィンドウに、「リムーバブルディスク」内のデジタルページ一覧が表示されます。

ファイルウィンドウのデジタルページをダブルクリックする事で、編集ウィンドウに展開できます。

編集終了後、「名前を付けて保存」でパソコン上の任意のフォルダに保存できます。



4.5 ペンタブレット・モード

本製品はプラグ&プレイに対応したペンタブレットとして利用でき、デジタルインクペンがそのまま入力ペンとなります。(3.8項参照)

ペンタブレット・モードでは、書込み範囲がタブレットエリアとして適用され、デジタルインクペンの動きに合わせてマウスのポインタが移動します。

デジタルインクペンで1度たたくとマウス左ボタンのシングルクリック、2度たたくとダブルクリックとして機能します。



TN-A501 はフロントパネルが左側になる横長に配置してください。
TN-A401 はフロントパネルが下側になる横長に配置してください。
他の配置は誤作動の原因になる恐れがあります。



デジタルインクペンが本体の書込みエリアに直接触れないように注意してください。故障の原因となります。

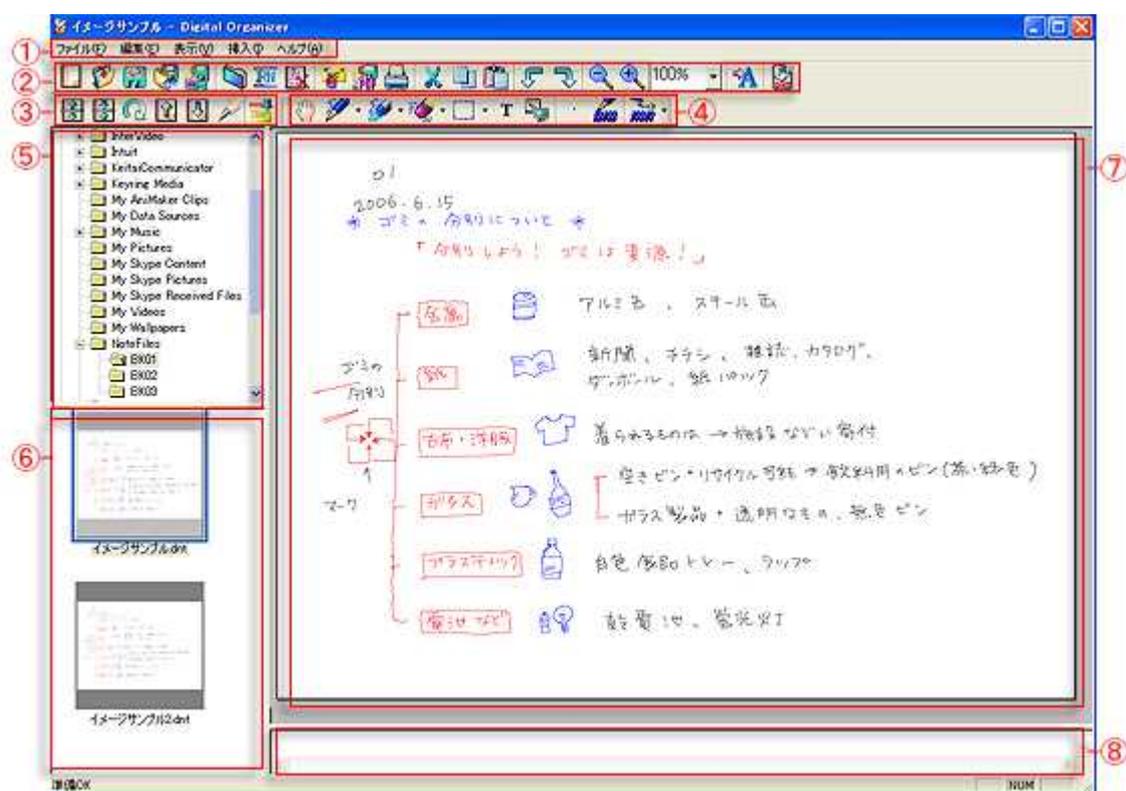


マルチディスプレイには対応していません。



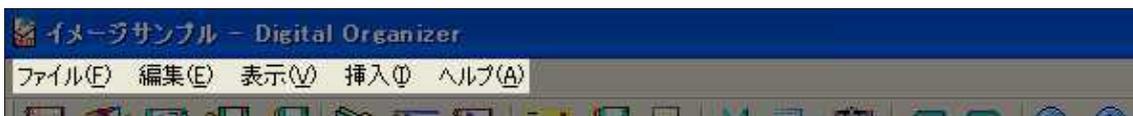
他社製ペンタブレットと一緒に使用することはできません。タブレットドライバが干渉して動作不良の原因となる恐れがあります。必ずどちらかのタブレットドライバを削除してご利用ください。

4.6 The Digital Organizer の名称



- メニューバー
- 標準バー
- ページバー
- ツールバー
- フォルダウィンドウ
- ファイルウィンドウ
- 編集ウィンドウ
- コメントウィンドウ

5. The Digital Organizer メニューバー



5.1 ファイル (F)

新規作成 (N)

新しいデジタルページを作成します。

開く (O)

既存のデジタルページを開きます。

上書き保存 (S)

編集中的デジタルページを上書き保存します。

名前を付けて保存 (A)

編集中的デジタルページに名前を付けて保存します。JPG、BMP、PDF 形式のファイル保存も可能です。



ファイルの削除 (D)

ファイルウィンドウで選択したデジタルページを削除します。

新規フォルダの作成 (E)

フォルダウィンドウで選択したフォルダに新しいサブフォルダを作成します。

ファイル名の変更 (R)

ファイルウィンドウで選択したデジタルページの名前を変更します。

印刷 (P)

編集中的デジタルページを印刷します。

プリンタ設定 (r)

プリンタの印刷設定を変更します。

終了 (x)

The Digital Organizer を終了します。

5.2 編集 (E)

元に戻す (U)

ひとつ前の作業状態に戻ります。

切り取り (T)

選択範囲を切り取ります。

コピー (C)

選択範囲を複写します。

貼り付け (P)

「切り取り」あるいは「コピー」した選択範囲を貼り付けます。

ファイルの分割 (S)

重なったデジタルページを分割して保存します。(第7章参照)

文字認識 (OCR) ソフトの起動 (Q)

パソコンに「MyScript Notes 2.1 For U」がインストールされている場合、この項目を選択すると、プログラムが起動し、文字や図形のテキスト変換を行うことができます。

すべて選択 (A)

編集中のデジタルページのストロークラインを全て選択します。



002 - Digital Organizer	
編集(E)	表示(V) 挿入(I) ヘルプ(A)
元に戻す(U)	Ctrl+Z
切り取り(T)	Ctrl+X
コピー(C)	Ctrl+C
貼り付け(P)	Ctrl+V
ファイルの分割(S) 文字認識(OCR)ソフトの起動(Q)	
すべて選択(A)	Ctrl+A

5.3 表示 (V)

縮小版 (L)

アイコン (S)

一覧 (L)

詳細 (D)

サブウィンドウ内のファイル表示方法を変更します。

標準バー (G)

ページバー (P)

ツールバー (T)

ステータスバー (S)

各バーの表示・非表示を変更します。

背景 (B)

編集中のデジタルページの背景表示・非表示を変更します。

再読込 (R) フォルダウィンドウをリロードします。



5.4 挿入 (I)

背景 (B)

背景画像を指定して表示します。(第9項参照)



5.5 ヘルプ (A)

本ソフトウェアのバージョン情報を表示します。



6. The Digital Organizer 標準バー



新規作成 : 新しいデジタルページを作成します。



開く : 本体の内蔵メモリやパソコンのハードディスクから、ファイルを指定してデジタルページを開きます。



保存 : 編集中のデジタルページを上書き保存します。



名前を付けて保存 : 編集中のデジタルページに名前を付けて保存します。
DNT、JPG、BMP、PDF 形式から選択して保存します。



選択範囲の保存 : 選択したストロークラインに名前を付けて保存します。
JPG、BMP 形式から任意選択して保存します。



新規フォルダ : フォルダウィンドウで選択したフォルダに新しいサブフォルダを作成します。



ファイル名変更 : ファイルウィンドウに表示・選択されたデジタルページの名前を変更します。



削除 : ファイルウィンドウに表示・選択されたデジタルページを削除します。



送信 : ファイルウィンドウで選択したデジタルページを JPG または PDF ファイルとして電子メールに添付します。またファイルの追加も可能です。



ファイルを追加 : 添付するファイルをリストに追加します。

ファイルの削除 : 添付ファイルリストからファイルを除外します。

上へ移動 (u) / 下へ移動 (d) : 添付ファイルリストで選択したファイルの添付する順番を移動します。

添付ファイルは PDF / JPG : 添付ファイルのファイル形式を選択します。

メール : リストのファイルを添付した電子メールを作成します。

キャンセル : 作業を中断します。



DNT ファイルの変換 : ファイルウィンドウで選択したデジタルページを JPG、BMP または PDF ファイル形式で保存します。



ファイルを追加 (A) : 変換するファイルを選択します。

ファイルの削除 (D) : 選択したファイルをリストから除外します。

上へ移動 (u) / 下へ移動 (d) : ファイルリストで選択したファイルの順番を移動します。

変換 (O) : プルダウンメニューで指定したファイル形式でリストのファイルを変換します。

[プルダウンメニュー]

- ・ **JPG ファイルに変換**・・・JPG 画像に変換して保存します。
- ・ **BMP ファイルに変換**・・・BMP 画像に変換して保存します。
- ・ **複数ページを一つの PDF ファイルに変換**・・・ファイルリストのデジタルページをひとつの PDF ファイルにまとめて変換して保存します。
- ・ **1 ページ毎にひとつの PDF ファイルに変換**・・・ファイルリストのデジタルページを 1 ページ毎に異なる PDF ファイルに変換して保存します。

キャンセル (C) : 作業を中断します。

テンプレートを使用 : ファイル名を連番になるようにリネームして変換します。
の数が桁数になります。# の前後に文字を入力できます。

保存場所 : 変換後のファイルの保存先を指定します。



印刷 : ファイルウィンドウで選択したデジタルページを印刷します。



切り取り : 編集中のデジタルページの選択範囲を切り取ります。



コピー : 編集中のデジタルページの選択範囲を複写します。



貼り付け : 「切り取り」あるいは「コピー」した選択範囲を、編集中のデジタルページ貼り付けます。



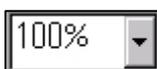
元に戻す : ひとつ前の作業状態に戻ります。



やり直し : 「元に戻す」を取り消し、前の作業状態に進みます。



縮小表示・拡大表示 : 編集ウィンドウの表示サイズを変更できます。



表示倍率の変更 : プルダウンメニューの中から選んで、編集ウィンドウの表示倍率を変更します。直接入力して任意の倍率に変更する事も可能です。



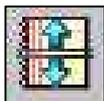
文字認識 (OCR) ソフトの起動 :

「MyScript Notes 2.1 For U」が PC にインストールされている場合、この項目をクリックするとプログラムが起動して、文字や図形のテキスト変換を行うことができます。* 「MyScript Notes 2.1 for U 取扱説明書」を参照



バージョン情報 : 本ソフトウェアのバージョン情報、ならびにオンラインヘルプのリンク先を表示します。

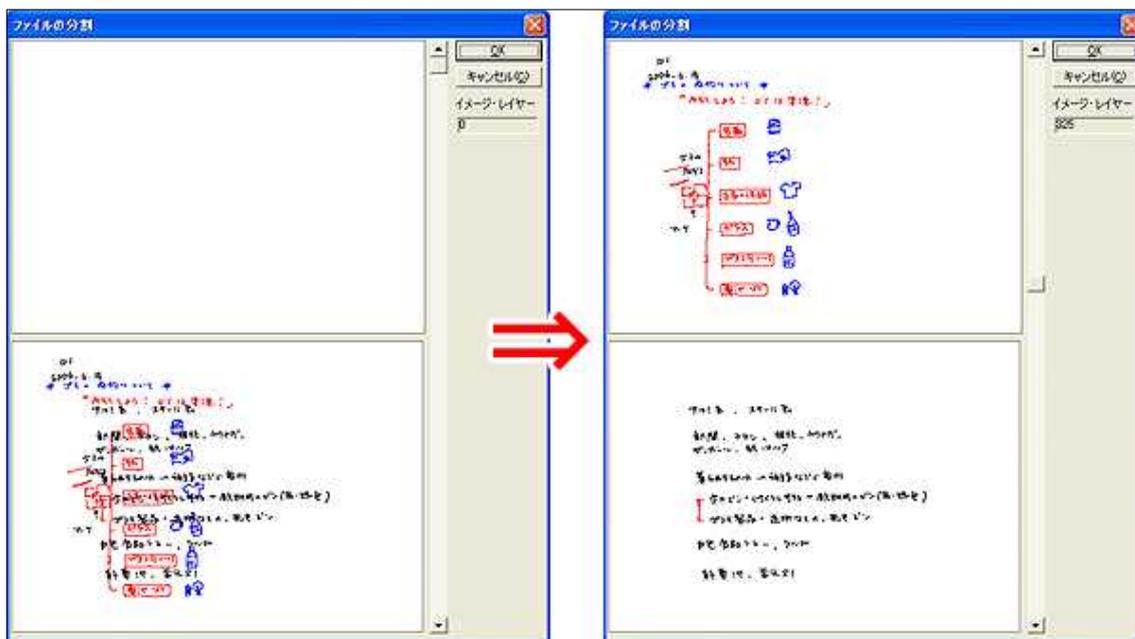
7. The Digital Organizer ページバー



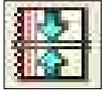
重複するページを分割 : 重なったデジタルページを分割して保存します。

デジタルノートパッド使用時のトラブルとして、デジタルページ更新時に Technote 本体の操作にて **NEW** ボタンのクリックを忘れて、2つのデジタルページが1つのデジタルページとして保存される事が発生します。通常はこうしたデジタルページは判別不能となり、修正も困難です。

本機能は、こうしたトラブルを解決します。重複保存したデジタルページの解析を行い、判別可能な個別デジタルページにレイヤー分割・保存することが可能です。



〔重複するページを分割〕をクリックすると上下2分割の画面を表示します。右側のスクロールバーをスライドして重複したデジタルページを分割します。最後に〔OK〕をクリックして分割したデジタルページを保存します。



ファイルの結合 : 2つのデジタルページをひとつに結合します。
別ページに書いた文章と画像などを1枚のページにまとめることができます。



回転 : 編集中のデジタルページを回転表示します。
-90度、90度、180度回転して表示することができます。



前のページ : 編集するデジタルページを変更します。ファイルウィンドウに表示された選択ファイルをひとつ前に移動します。



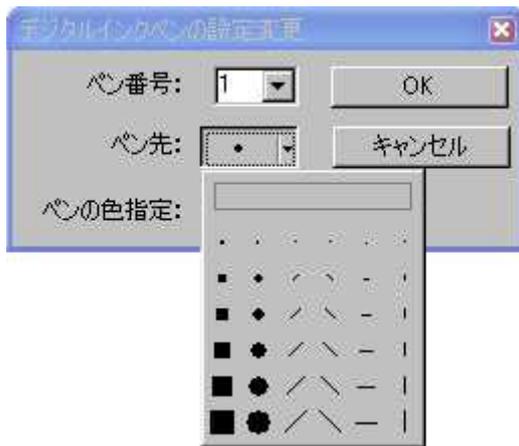
次のページ : 編集するデジタルページを変更します。ファイルウィンドウに表示された選択ファイルをひとつ後ろに移動します。



線種の変更 : ペン番号毎に、そのデジタルインクペンのストロークラインの形状・色を変更できます。



ペン番号 : 設定を変更するデジタルインクペンを選択します。1 は黒色、2 は青色、3 は赤色のデジタルインクペンです。



ペン先 : 本アプリケーションでデジタルページを開いた時の、ライン形状を設定します。



ペンの色指定 : 本アプリケーションでデジタルページを開いた時の、ラインの色を設定します。



コメント記入 : コメントウィンドウを表示・非表示にします。本アプリケーションでデジタルページを開いた時に、コメントを付け加えることができます。

8. The Digital Organizer ツールバー



手のひらツール : 編集中のデジタルページをドラッグして自由にスクロールできます。



鉛筆 : 編集中のデジタルページにマウスやタブレットを使って書き込みます。鉛筆アイコンの をクリックして、書き込み方法を選択できます。



フリーハンド



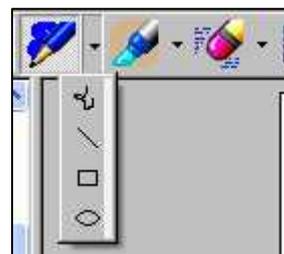
直線



四角



サークル



蛍光ペン : 編集中のデジタルページにマウスやタブレットを使って書き込みます。ハイライトアイコンの をクリックして、書き込み方法を選択できます。



フリーハンド



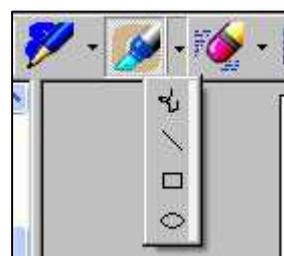
直線



四角

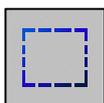


サークル





消しゴム : 選択したストロークを消去します。消しゴムアイコンの をクリックして、サイズを変更できます。



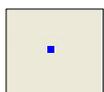
選択 : 編集集中のデジタルページから範囲を選択できます。選択した範囲は「切り取り」「コピー」「貼り付け」が可能です。



テキスト挿入 : 編集集中のデジタルページにテキストを入力します。クリックしてからライティングエリアをクリックしますと、「テキスト入力」ウィンドウが立ち上がります。



モード切替 : Technote をペンタブレット・モードで使用した際に、タブレットエリアを「スクリーンモード」と「紙モード」に切り換えることができます。



ペン先の形 : 選択中の「鉛筆」または「蛍光ペン」のペン先を変更します。



ペンのインク色 : 選択中の「鉛筆」または「蛍光ペン」のカラーを変更します。



選択範囲の編集 : 選択範囲のストロークラインを任意のペン先、カラーに置換します。

9. 定型文書の印刷項目と手書きデータの同時保存：背景の挿入

はじめに

「Technote」に保存できる情報は、用紙に記入した手書き情報のみです。

本章では記入用紙の背景（印刷項目）と手書き情報をひとつにまとめて保存する方法をご案内します。

アンケート用紙、申請書などの定型文書を「Technote」で記入すれば、デジタルデータとして管理することが可能になります。万が一の紛失、収納場所の確保、バックアップなどの問題を一挙に解決できます。

1.1 定型文書の用意

まずワープロソフト等で「定型文書」を作成します。必ずご利用中のTechnoteに対応した用紙サイズで作成してください。印刷サイズと編集サイズが異なると、手書きデータと印刷項目の位置が合わなくなります。

[対応する用紙サイズ]

- ・ TN-A442 : A4 用紙サイズ



TN-A401 の対応用紙サイズはA4ですが、実際の書込範囲は約 204 x 263mm です。定型文書を作成する場合、フロントパネル側の余白を 3cm 程度あけて下さい。

1.2 用意した「定型文書」を「JPG 画像」に変換する

「定型文書」を画像に変換する方法を 2 通りご紹介します。

印刷した「定型文書」をスキャナーで取り込みます。この時、スキャン画像のサイズが定型文書と同じサイズになるようにご注意ください。

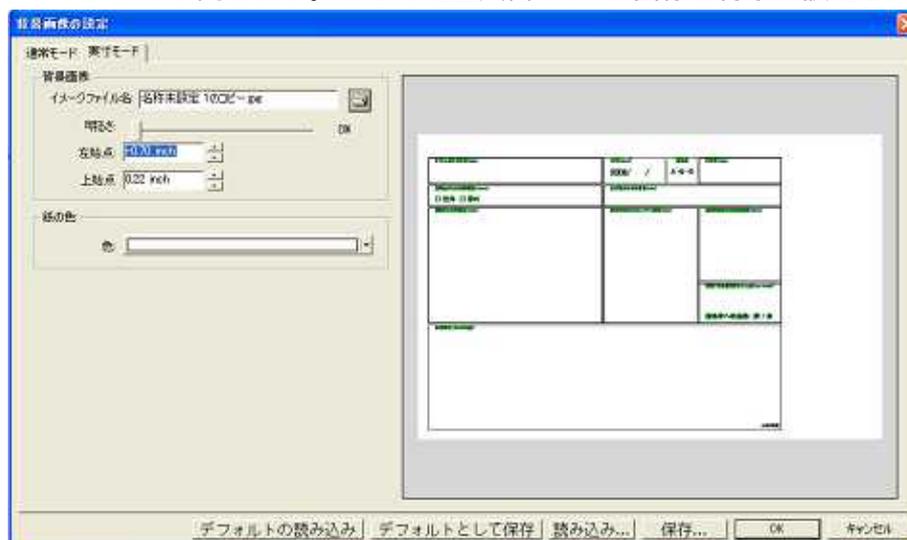
作成した「定型文書」を PDF ファイルに変換します。変換した PDF ファイルを Adobe「Acrobat7.0 Standard」等で JPG 画像に変換して保存します。



PDF ファイルの画像変換は、PDF フォーマットを扱う一部のソフトウェアが有する機能です。お試しになる前に、ご利用中のソフトウェアの対応を必ずご確認ください。

1.3 定型文書の JPG 画像を「背景」に設定する

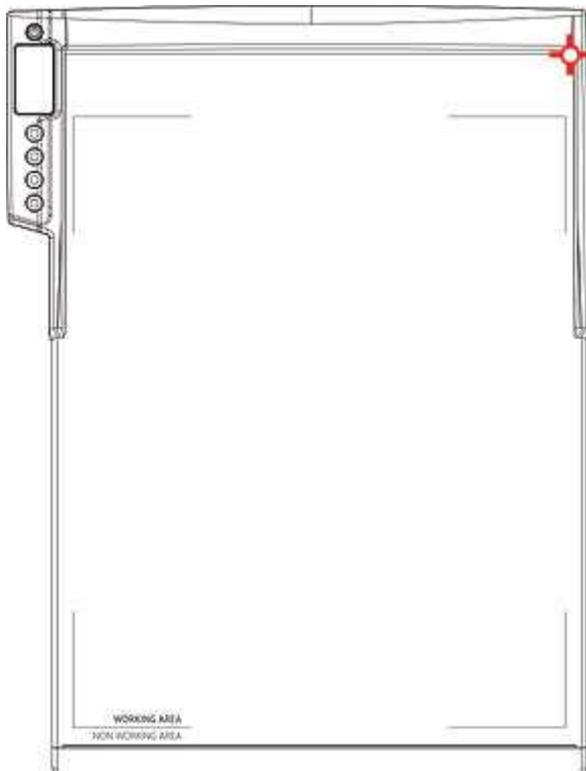
「The Digital Organizer」を起動して「メニューバーの挿入 > 背景」をクリックすると、「背景の挿入」ウィンドウが開きます。ここで定型文書の JPG 画像を背景に設定します。



- ・「**実寸モード**」：背景画像の実際の大きさを表示します。
- ・「**背景画像**」：背景画像の選択や明るさ、位置の微調整が出来ます。
 - ・**イメージファイル名**：選択した背景イメージファイルの名前を表示します。
 - ・**明るさ**：背景の明るさの調節が出来ます。
 - ・**左始点と上始点**：背景イメージファイルの位置の微調整が出来ます。
- ・「**紙の色**」：背景の紙の色を設定出来ます。

1.4 「定型文書」をセットして「Technote」に記入する

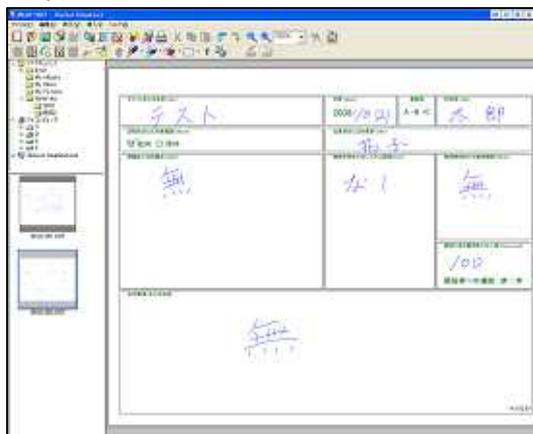
ワープロソフト等で作成した「定型文書」を印刷して「Technote」にセットします。



* Technote にセットする際、用紙の端を所定の位置に揃えてください。(上図参照)

1.5 「Digital Organizer」にデジタルデータを取り込む

Technote で作成したデジタルデータを「Digital Organizer」に取り込みます。先ほど設定した「記入用紙」の背景画像と「手書きデータ」が正常に重なって表示されていることをご確認ください。



1.6 名前をつけて保存する

[ファイル>名前をつけて保存]で JPG 画像、BMP 画像、PDF ファイルに保存できます。

以上で定型文書の印刷項目と手書きデータを同時に保存する方法の解説を終了します。
記入用紙・申請書の Technote 用テンプレートを次のサイトに随時公開しています。

Kairen ポータルサイト : <http://www.kairen.co.jp/>

是非ご活用ください。

10. トラブルシューティング

 デジタルページが重なって保存されます。

用紙をめくる度に、Technote 本体のフロントパネルの  ボタンを押して新規デジタルページを作成してください。

その時、LCD パネルのページアイコンが  であることをご確認ください。

万が一、重なったデジタルページが作成された場合、「ページバーの重複するページを分割」で分割することができます。(第7章参照)

 記入した内容の一部分しか記憶できていません。

デジタルページ作成中に本体の電池切れが発生した可能性があります。電池交換を試してください。(2.1 項参照)

本体裏面のバッテリーカバーがきちんと閉じられているか確認してください。

「読み取り可能紙厚」より厚みのあるメモ帳を使用している可能性があります。

LCD パネルのペンアイコンが表示されているか確認してください。(第2章参照)

Technote 本体の電源ボタン押してから使用できるまでしばらく時間がかかります。LCD パネルにステータス情報が表示されたのを確認してご使用ください。(3.2 項参照)



自動シャットダウンの時間設定が短い可能性があります。 余裕のある時間設定に変更してください。(3.8 項参照)



デジタルインクペンのストロークに乱れが生じます。

複数のデジタルインクペンを同時に使用している可能性があります。同時に使用できるのは1本だけです。

デジタルインクペンを使用中に、他のデジタルインクペンが Technote 本体に置かれている可能性があります。



ページカウンターがまだ 99 枚になっていないのに、新規デジタルページを作成できません。

ステータス情報をご確認ください。内蔵メモリの容量不足の可能性があります。(3.8 項参照)



MyScript[®] Notes 2.0 for U



取扱説明書 v2.0

「Myscript Notes for U -体験版-」をご利用のお客様へ

「Technote」の添付 CD は「Myscript Notes 2.0 for U」の体験版を同梱しています。
体験版のお試し期間は30日間です。試用期間終了後、継続して本ソフトウェアをご利用になる場合、以下のWebサイトから正規版をご購入いただけます。試用期間中の機能制限はございません。

【お申し込み窓口】

有限会社 海連

TEL : 04-2928-6836 URL : <http://www.kairen.co.jp/technote/>

お申し込み方法、移行手続きはWebサイトでご確認ください。

お電話による通信販売も承っております。お気軽にお問合せください。

「Myscript Notes 2.0 for U -正規版-」をご利用のお客様へ

日頃は「Myscript Notes 2.0 for U」をご愛顧いただき誠にありがとうございます。
本書は共通マニュアルとして作成されている都合上、体験版の記載がございます。
予めご了承ください。

ご注意ください

・ 本書は、有限会社 海連による、『Myscript Notes 2.0 for U』ソフトウェア契約ユーザーに対する情報提供を唯一の目的とし、明示あるいは暗示である事を問わず、内容に関して一切の保証をするものではありません。このソフトウェアおよびマニュアルを運用した結果の影響については責任を負いかねますので、ご了承ください。

・ 本製品（コンピュータプログラムとマニュアルその他の関連資料を含む）の一部または全部を弊社の書面による許可なく複写・複製することは、固く禁じます。本製品の内容・仕様は、訂正・改善のために予告なく変更することがございますので予めご了承ください。

・ 万一、乱丁・落丁がございましたら、お手数ですが、弊社宛てにご返送ください。お取替えさせていただきます。本書の内容に関して万一ご不信な点やお気づきの点がございましたら、カスタマーサポート係までご連絡ください。

商標情報

MyScript Notes は VisionObjects の登録商標です。

“ Technote ” および “ TN-A442 ” は有限会社海連、スリーエーシステムズ有限会社、ポトス株式会社の登録商標です。

Crosspad は IBM の登録商標です。

一太郎は JUSTSYSTEM の登録商標です。

他のすべての商標はそれぞれの所有者が保持する商標です。

著作権表示

©2006 KAIREN Co.Ltd.,All rights reserved.

本書に含まれる内容のすべては有限会社 海連が著作権を有しております。

本書に含まれる内容の全体もしくは一部を、無断で複製、あるいは頒布する行為を一切禁じます。

注:このマニュアルの中で言及された仕様書は予告なしに変更の対象です。

1. MyScript Notes

1.1 MyScript Notes とは

MyScript Notes は手書きデータを簡単・正確にデジタル文書へ変換するツールです。特徴として以下の性能があります。

- 手書き、形状、表をデジタル文章に変換します。
- MyScript Notes にて、デジタル文書を編集する事ができます。
- リッチテキストファイル形式で、編集結果を Microsoft Word に保存したり、e メールで送信する事ができます。
- MyScript Notes は、多くの言語に対応しています。(日本語の他に、デンマーク語、オランダ語、英語、フィンランド語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、ポルトガル語、簡体中国語、スペイン語、スウェーデン語に対応しています。)
- 認識設定ファイルを作成する事で、より正確に手書きの文書を認識する事ができます。

1.2 システム必要条件

OS	Windows 2000 または XP
CPU	Pentium 233MHz 以上
メモリ	128MB 以上推奨
ハードディスク	270MB 以上の空き容量
使用デバイス	CD-ROM

1.3 ソフトウェアのインストール

- ・付属 CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。
- ・インストーラーが自動的に立ち上がります。
- ・設定言語の選択にて「日本語」を選択し、「次へ」をクリックします。



- ・日本語の表示でインストール作業を行います。「次へ」をクリックします。



- ・使用許諾契約に問題が無ければ、同意を選択し「次へ」をクリックします。



- ・ MyScript Notes のインストール先を指定します。デフォルトのインストール先は、「C:\Program Files\Vision Objects\MyScript Notes for U」になります。インストール先を変更する場合、「変更(C)」ボタンをクリックし、インストール先を決定します。



- ・ インストールの終了です。「完了」をクリックし、プログラムを終了させます。



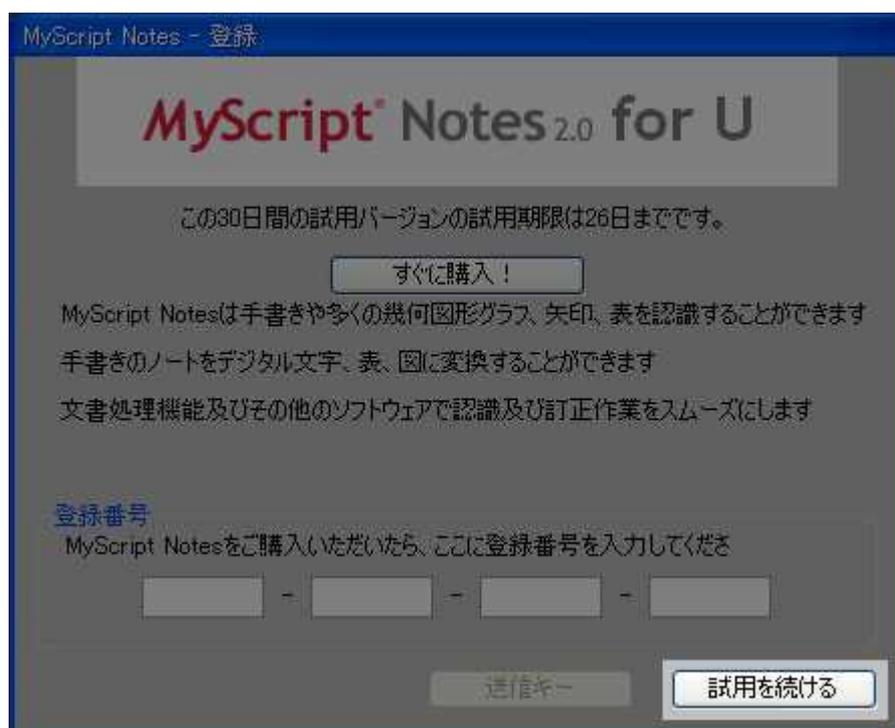
1.4 ソフトウェアの起動

MyScript Notes の起動方法には、次の2つの方法があります。

- [スタート] > [Vision Objects] > [Myscript Notes] > [Myscript Notes for U] をクリックして、ソフトウェアを起動します。
- デスクトップ・アイコンをクリックして、ソフトウェアを起動します。

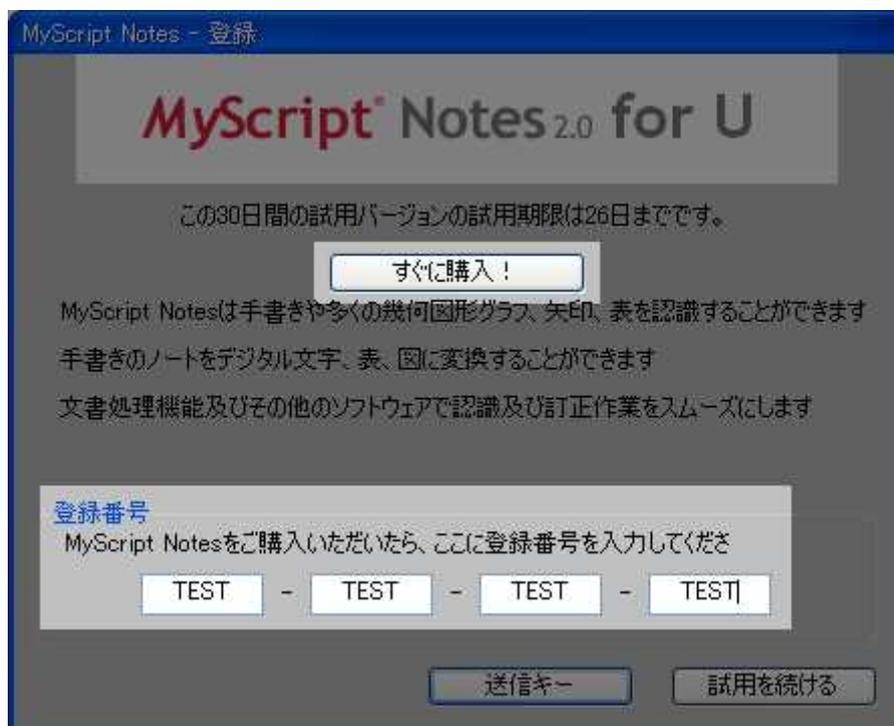
1.5 「MyScript Notes 2.0 for U - 体験版 - 」の試用

「MyScript Notes 2.0 for U - 体験版 - 」の試用期間は30日間です。本ソフトウェアを使用する場合は、[試用を続ける]ボタンをクリックしてください。



1.6 「MyScript Notes 2.0 for U - 正規版 - 」の購入と登録

「MyScript Notes 2.0 for U - 体験版 - 」の試用期間が過ぎると、本ソフトウェアは使用できなくなります。継続してご利用になる場合、ライセンスの購入と登録が必要になります。



■ オンラインで購入する場合、[すぐに購入！] ボタンをクリックします。移動先のホームページの指示に従い、ライセンスを購入します。

■ 電話・FAXで購入する場合、下記のダイヤルにてライセンスを購入します。

有限会社 海連 カスタマーサポートデスク

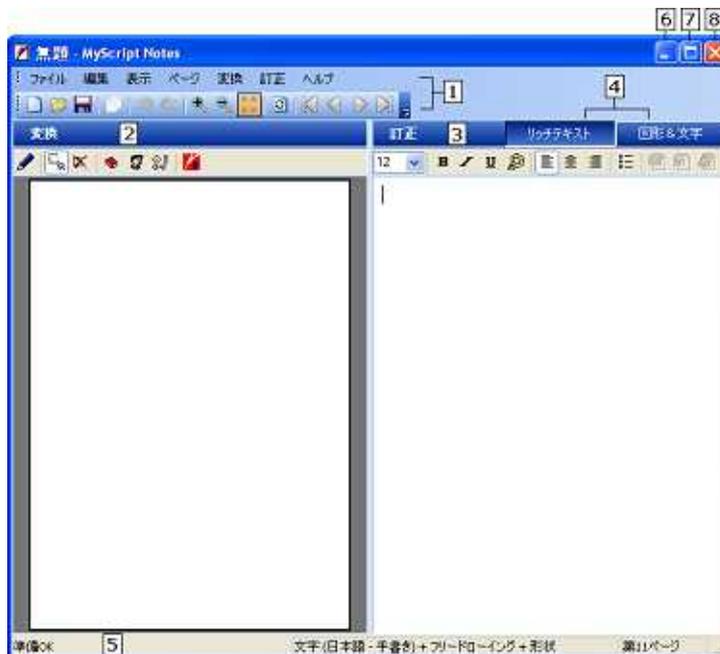
TEL: 04-2928-6836 FAX: 04-2929-6297

■ ライセンス購入後、登録番号の欄に番号を記入して、「送信キー」をクリックします。その後、プロテクトが解除され正規版として使用できます。

2. Myscript Notes の説明

2.1 MyScript Notes アプリケーションウィンドウ

MyScript Notes を開くと、アプリケーションウィンドウが起動します。



番号	名称	説明
1	メニューバー 標準ツールバー	Myscript Notes の機能全般 標準的な機能をボタン化したメニュー
2	変換ウィンドウ	「手書き文書」表示スペース
3	訂正ウィンドウ	変換ウィンドウを通して変換すると、文書の編集が可能
4	リッチテキストタブ 図形&文字タブ	フルテキストエディターの表示 形状、フリードローイング、文字の編集
5	ステータスバー	現在のページ数及び使用されている変換モードの表示
6	最小化ボタン	ウィンドウを最小まで縮小してタクスパーに置くボタン
7	最大化ボタン	ウィンドウを拡大するボタン
8	閉じるボタン	ウィンドウを閉じるボタン

2.2 ノートファイルを開く

MyScript Notes で読み込む事のできるファイルを「ノートファイル」と呼びます。MyScript Notes は下記形式の文書を開く事ができます。

.notes	MyScript Notes オリジナル形式
.dnt	海連 Technote ファイル形式
.ps	IBM Crosspad ファイル形式

Technote 内のファイルを開く

操作方法

メニューバー	ファイル > 開く
標準ツールバー	 をクリック
ショートカット	Ctrl+O



- 「開く」のダイアログボックス内にて必要なファイルを検索し、**ダブルクリック**または、「開く(O)」ボタンをクリックして該当ファイルを開きます。

2.3 ノートファイルの保存

MyScript Notes のファイル形式は「.notes」です。「.notes」は以下の情報を保存します。

- 手書き文書の内容
- 変換エリアの指定
- 変換結果及び変換テキストの訂正

ノートファイルの保存操作

操作方法

メニューバー	ファイル > 保存
標準ツールバー	 をクリック
ショートカット	Ctrl+S

2.4 ノートファイルを印刷する

MyScript Notes は二つのエリアに分かれています。「**変換**」ウィンドウには変換前の手書きデータを表示します。「**訂正**」ウィンドウには変換した文字を表示し、且つ訂正する事ができます。各ウィンドウに表示された内容を印刷する事ができます。

操作方法

メニューバー	ファイル > 印刷
ショートカット	Ctrl+P

■ この操作は全てのページにおいて選択した部分を印刷する時に行います。複数に渡るページから一部分を印刷する場合、「印刷」ダイアログボックス内の「印刷範囲」より印刷範囲を指定します。

2.5 ページの閲覧

文書が複数ページに及ぶ場合、ページ単位で閲覧する事ができます。閲覧したいページをマウスにて選択し、「開く」ボタンを押します。



複数ページを選択した場合、MyScript Notes の標準ツールバーにボタンが表示されます。(下図枠線内 参照)



ボタンを操作し、閲覧したいページを表示させます。

ボタンの説明

アイコン	名称	説明
	「トップページ」ボタン	文書のトップページを呼び出す時にクリックします。
	「次のページ」ボタン	次のページをめくる場合にクリックします。
	「前のページ」ボタン	ページを前に戻る場合にクリックします。
	「最後のページ」ボタン	文書の最後のページを呼び出す時にクリックします。

2.6 拡大 / 縮小 / ノートのページサイズの調整

ノートの全体像を閲覧、または一部分の拡大など、ページの表示サイズを変更する事が可能です。

ボタンの説明

アイコン	名称	説明
	「拡大」ボタン	文書を拡大する場合にクリックします。
	「縮小」ボタン	文書を縮小する場合にクリックします。
	「ページサイズの調整」ボタン	ウィンドウの幅に合わせて拡大 / 縮小します。

手書きの文書を回転させる場合は、メニューバーより「ページ > 90 度回転させる」を選択し、文章を回転させます。

3. 変換

3.1 ノートファイルをテキスト形式で変換する

MyScript Notes はノートファイルをテキスト形式に変換することができます。MyScript Notes は 2 種類の変換モードを持っています。

変換モード

プレーンテキスト形式	テキスト形式を使ったファイル(タイトル/番号を含む)
混合形式	図形、表、フリードローイングの変換が可能。 文書の形式に応じて、適切な形式が選べます。

ファイルサイズが大きい場合、変換に時間が掛かる事があります。

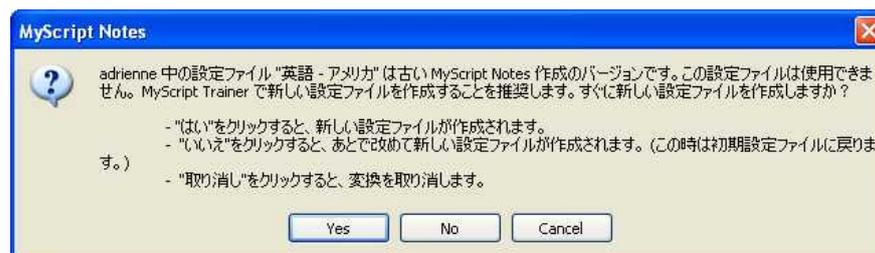
操作方法

メニューバー	変換 > スタート
ツールバー	 をクリック。
キー操作	ファンクションキーの[F5]



- ▶ 文書の全てのページを変換する時、あるいは、現在のページあるいはまとまった一部のページを変換する時は、「**変換するページを選択する**」を使って行います。
- ▶ 必要に応じて、ノートファイルに書かれているのと同じ言語を選択します。
- ▶ 文書に形状あるいはフリードローイング形式が含まれる場合は、「**図形&文字**」をクリックし、必要に応じて「**形状**」あるいは「**フリードローイング**」を選択します。
- ▶ 「変換開始」を確認する時は、「**確定**」をクリックするか、「**Enter**」キーを押します。
- ▶ 画面右側の「訂正」ウィンドウに、変換の結果が表示されます。必要に応じて、保存あるいは使用前にマニュアル形式でノートを修正する事ができます。
- ▶ 変換する前に変換を中止する場合は、再度「**変換のスタート/取り消し**」ボタン  をクリックします。変換の途中でこの操作を行うと、体裁が変わるのでご注意ください。

以前のバージョンの MyScript Notes を使用する場合、ファイルの作成時に警告のダイアログボックスが表示されます。その場合はファイルを作成するかどうか選択してください。



- ▶ 変換機能にて変換を「**スタート**」するたびに、変換設定を見る必要がない場合は、「**変換のたびにこのダイアログボックスを表示する**」(変換設定ダイアログボックスの下方に表示)を取り消します。「**変換設定**」ボタン  でダイアログボックスを任意に表示させる事ができます。

3.2 変換モードの管理

MyScript Notes は文字を認識する機能だけではなく、形状、グラフ、図形を認識し、変換するモードを搭載しています。この機能がある事で、より正確な処理が可能になります。モードを組み合わせる事で、さらに多くのオブジェクトを認識する事ができます。

リッチテキストモード

このモードは文字の処理専用モードで、形状、グラフ、図形は処理できません。このモードは次のアイテムを処理します。

- 図形中の文字
- 太字、斜体文字
- タイトル及びナンバーリスト
- アンダーライン

リッチテキストファイルを認識する事ができるので、Word あるいは WordPad による処理がより効果的に行えます。

形状モード

このモードを単独で使用する場合は図形のみを認識します。図形を描きなおす事が可能で、幾何図形も処理できます。変換した文字を簡単な形状に組み合わせる事も可能です。

次の図形を処理する事ができます。

- 円形
- 楕円形
- 長方形
- ひし形
- 各種三角形
- 円弧
- 直線
- 直線及び曲線の矢印
- 表

フリードロッキング

このモードは元の正確な形状に適合しない図形を認識する事ができます。

このモードを単独で使用する場合、ページ及び文書全体が図形に変換されます。ページ及び文書全体にフリードロッキング以外の内容がある場合は、「文字&フリードロッキング」あるいは「文字&形状&フリードロッキング」のモードを選択してください。

無視するモード

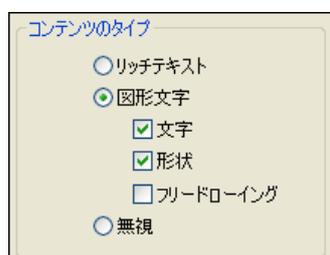
このモードは特定の変換エリアにおいて使用可能です。このモードを選択すると、変換エリア内は変更されません。

変換モードの変更

変換モードは2種類あります。ページ毎に変換を設定する「**グローバル変換設定**」(3.4 グローバル変換設定の定義に後述)とページ内にて新しい変換エリアを定義する「**特定エリアの設定値**」とに分かれます。

■ 「**グローバル変換設定**」にて設定を変更する場合、「**変換設定**」 ボタンで「**すべてのエリアで設定値を変更**」のダイアログボックスを呼び出します。

■ 新しい変換エリアを定義する場合、 ボタンを押す事で「**特定変換エリア設定値**」のダイアログボックスを呼び出し、「**コンテンツタイプ**」内の設定にて設定を変更する事が可能です。



3.3 変換した文書を他のアプリケーションで使用する

ノートファイルをテキスト形式で変換すると、他のアプリケーションで使用する事が可能です。

一太郎にテキストを送る

■ 一太郎にテキストを送る時は、「**一太郎に移行**」ボタン  をクリックします。(一太郎がインストールされている場合に有効)

一太郎ではリッチテキスト形式で表示されます。文字や形状も含み、MyScript Notes ファイルとして作成されます。形状モードでフリードローイングを選択して変換したノートファイルは、一太郎に移行できない場合があります。

MS Word にテキストを送る

■ MS Word にテキストを送る時は、「**ワードに移行**」ボタン  をクリックします。(Word がインストールされている場合に有効)

Word ではリッチテキスト形式で表示されます。文字や形状も含み、MyScript Notes ファイルとして作成されます。

e-メールとしてテキストを送る

■ e-メールとしてテキストを送る場合は、「e-メールとして移行」ボタン  をクリックするか、メニューバーより「訂正 > e-メールとして移行」をクリックします。

この操作は一般のテキスト形式をメールに添付する形でe-メールメッセージを送ります。このフォーマット形式は、いかなる形状や図形も保存できません。

メモ帳にテキストを送る

■ メモ帳にテキストを送る場合は、「文書のエクスポート」ボタン  をクリックするか、メニューバーより「訂正 > 文書のエクスポート」をクリックします。

3.4 グローバル変換設定の定義

新しい変換機能を開く時、毎回自動的にグローバル変換設定のダイアログボックスが表示されるようになっています。必要に応じて、グローバル設定を変更する事ができます。変更後の設定は現在の文書に適用されます。

■ グローバル変換設定のダイアログボックスを開く場合は、「変換設定」ボタンを押すか、メニューバーより「変換 > 設定」機能呼び出します。



- ページ変換を選択する場合は、「ページの範囲を変更」内を変更します。
 - 全てのページを変換する場合、「全てのページ」にチェックを入れます。
 - 現在表示されているページを変換する場合、「現在のページ」にチェックを入れます。
 - 特定のページだけを変換する場合、「ページ」にチェックを入れ、テキストボックスに必要なページを記入します。単独のページを指定する場合は「;」(例:1;8)を、連続したページを指定する場合は「-」(例:3-5)を使用します。それぞれを組み合わせる事も可能です。(例:1;3-5;8)

- 異なる変換方式を選択する場合は、「コンテンツのタイプ」内の「リッチテキスト」または、「図形文字」にチェックを入れます。「図形文字」を選択した場合、ノートファイルの内容に合わせ「文字」、「形状」または「フリードローイング」を選択します。

- 必要に応じて、「言語」メニューから、ノートと同じ言語を選択します。

指定済みの設定を確定する場合、「確定」をクリックするか、「Enter」キーを押します。

 「変更のたびにこのダイアログボックスを表示する」(変換設定ダイアログボックスの下方にある)という表示機能を取り消すと、変換機能を開いても変換設定のダイアログボックス(初期設定で自動的に開くようになっている)は表示されません。

3.5 変換エリアの管理

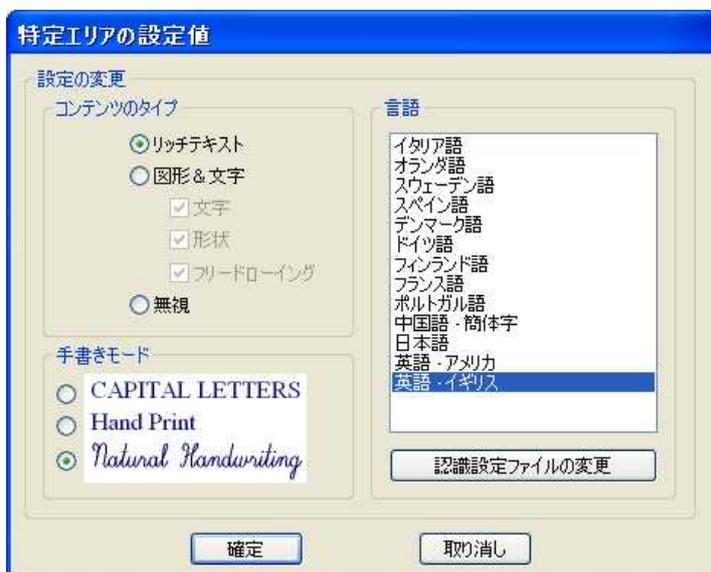
変換エリアは、異なる変換モードや異なる言語を指定する等、ユーザーが文書の定義を決める事ができます。

変換エリアの追加

変換枠を設定する事により、「**変換エリアの追加**」機能を起動させる事ができます。

変換エリアを追加する場合、( が表示されていれば押せます。)

■追加する変換エリアをポインタで示し(カーソルが  の形になります)、ドラッグして追加するエリアを選択します。



■ダイアログボックスにおいて、そのエリアの変換モードを選択します。「無視」モードは選択したエリアにおいて変換を実行しない事を意味します。

■ダイアログボックス内にて、選択エリア内で使用する言語を選択します。

■完了後は、「確定」をクリックするか、「Enter」キーを押してください。

- ▶ 定義したエリアを変換する際は、再度「変換の開始」 を実行します。グローバル設定のダイアログボックスが表示された場合、変換エリアに影響が及ばぬようダイアログボックスを閉じます。そのページが変更され、変換させたいエリアが変更されます。

変換エリアの削除

追加した変換エリアに間違いがあった時、あるいは、不要になった時は、削除する事ができます。

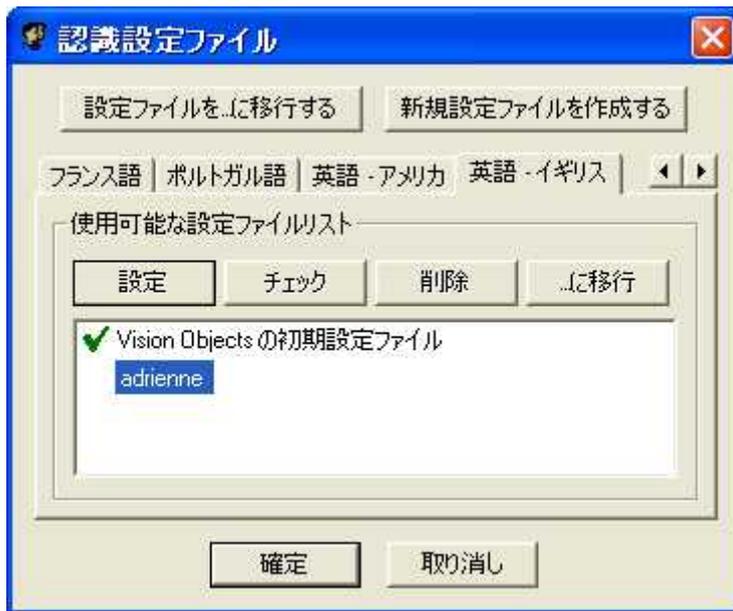
- ▶ 「変換エリアの削除」の  ボタンを起動します。
- ▶ 削除するエリアをポインタで示し、クリックすると選択された変換エリアが削除されます。

3.6 認識設定ファイルの管理

MyScript Trainer は MyScript Notes が手書き文書をより正確に認識できるように補助するプログラムです。トレーニングプログラムを実行する際に、使用者の言語によって、MyScript Notes が自動的に手書き文書認識設定ファイルを作成します。したがって、変換を実行する際、どのような認識設定ファイルが必要かを選択する必要があります。(現在のところ、日本語には対応していません。)

認識設定ファイルのダイアログボックスを開く

- ▶ 使用可能な認識設定ファイルを開く際、「変換」ウィンドウの  ボタンを使い、認識設定ファイルのダイアログボックスを開きます。新たに変換エリアを指定する場合は、「特定エリアの設定値」ダイアログボックスから認識設定ファイルにアクセスします。
- ▶ 「設定ダイアログボックス」の「認識設定ファイル変更」ボタンをクリックします。



認識設定ファイルの変更

その他の認識設定ファイルを指定しない限り、MyScript Notes は初期設定認識設定ファイルを使用します。

- ▶ 開いていない時は、「認識設定ファイル」のダイアログボックスを開いてください。
- ▶ 必要に応じて、認識設定ファイルの言語ボタンをクリックしてください。
- ▶ 使用可能なファイルのリストから、必要な認識設定ファイルを選択して「設定」ボタンをクリックしてください。
- ▶ 「確定」または「Enter」を押して、「認識設定ファイル」のダイアログボックスを閉じます。

認識設定ファイルのチェック

- ▶ 開いていない時は、「認識設定ファイル」のダイアログボックスを開いてください。
- ▶ 正確に認識設定ファイルが作成されているかチェックする場合は、ファイルのリストから、「チェック」を選択してクリックします。MyScript Trainer のウィンドウが開き、手書きの文書が正しいかどうかをチェックします。
- ▶ トレーニングウィンドウの「次へ」をクリックすると、サンプル文書によって表示されたテキストが正確かどうかをチェックします。

■ サンプルによるチェックが完了すると、改めて認識設定ファイルが作成されます。
この作業には数分間かかります。

■ 完了後、「終了」をクリックしてトレーニングウィンドウを閉じます。「認識設定ファイル」のダイアログボックスに戻ります。

■ 認識設定ファイルのタスクが終了しましたら、「認識設定ファイル」ダイアログボックスの「確定」ボタンをクリックし、終了します。

認識設定ファイルの削除

■ 不要になった認識設定ファイルを削除する場合、「認識設定ファイル」のダイアログボックスを開いてください。

■ 使用可能なファイルのリストから、削除するファイルを選択してください。

■ 「削除」をクリックします。

■ 削除に間違いなければ「はい」をクリックします。削除を取り消す場合は「いいえ」を押します。

■ 認識設定ファイルのタスクが終了したら、「認識設定ファイル」のダイアログボックスの「確定」をクリックします。

認識設定ファイルのエクスポート

「認識設定ファイルのエクスポート」とは、「.tpr」形式で他の場所に認識設定ファイルを保存する事です。保存した「.tpr」形式のファイルを使用し、別のコンピューターで MyScript Notes の認識設定ファイルを読み込ませる事が可能です。

■ 認識設定ファイルを移行する場合は、「認識設定ファイル」のダイアログボックスを開いてください。

■ 使用可能な認識設定ファイルのリストから、エクスポートする認識設定ファイルを選択してください。

■ 「エクスポート」をクリックします

■ 必要に応じて、ファイル名を変更してください。移行のダイアログボックスの「保存」をクリックします。

認識設定ファイルのインポート

エクスポートした「.tpr」形式のファイルを、「**認識設定ファイル**」として読み込む事が可能です。

■▶ 認識設定ファイルをインポートする場合、ダイアログボックスが開いていない時は、「**認識設定ファイル**」のダイアログボックスを開いてください。

■▶ 「**インポート**」をクリックします。

■▶ インポートする認識設定ファイルを選択して、「**開く**」をクリックします。

■▶ 認識設定ファイルのタスクが完了したら、「**認識設定ファイル**」の「**確定**」をクリックします。

■▶ 直接「**認識設定ファイル**」のダイアログボックスから「**新規設定ファイルの作成**」をクリックして、修正トレーニングモジュールを開く事も可能です(欧米言語のモード時のみ可能)。

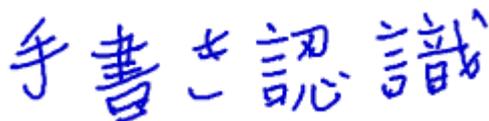
3.7 変換した内容の正確さをアップする秘訣

以下の二つの作業において、MyScript Notes は優れた正確性を発揮します。

続け書き/筆記体



手書き文書の印刷



変換内容をより正確にする為に、いくつかのポイントがあります。

削除あるいは文字の挿入をしない

MyScript Notes は、上書きで修正した文字や、斜線で消した誤字を文字として認識します。そのような文字の認識は非常に困難になります。この場合、文字の修正は手書きの文章上で行わず、MyScript Notes 上で行います。

単語間の間隔を正確にする

単語間の間隔が適切でないと、認識が困難になります。単語間、文字と句読点、カッコ等の符号の間には適切な間隔を空けます。

手書き文字の大きさを一定にする

手書き文字の高さが一致してないと図形として認識する場合があります。文字の大きさを出来るだけ一定にし、認識率を上げます。

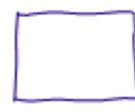
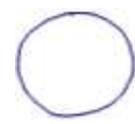
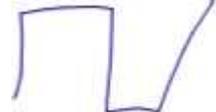
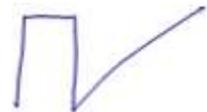
傾斜に注意する

文書の文字が傾斜しすぎると、認識が困難になる場合があります。MyScript Notes はある程度の文字傾斜に対応していますが、認識できる傾斜角度には限界があります。同様に各行の文字は同じ水平線上に保つ必要があります。行の段差が大きいと別の行として認識されます。

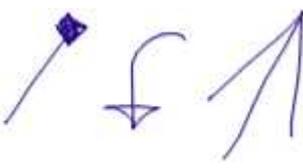
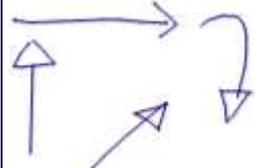
3.8 図形を描く時の秘訣

MyScript Notes はさまざまな形状を変換する事ができます。より正確に変換するために、いくつかの注意事項を守る必要があります。変換モードを起動したにもかかわらず、MyScript Notes が正確に形状を描けない場合は、形状をフリードローイング形式にしてみてください。

図形を描く時の秘訣

秘訣	 悪い例	 よい例
図形の線はできるだけ直線で記述します。不安定な線やはっきりしない線は誤認識の元になります。		
丸や四角等の閉じた図形を描く場合、接点を結合させます。		
多辺図形や多角形を描く場合、4本までの制限があります。		

直線及び矢印を描く時の秘訣

秘訣	 悪い例	 よい例
ラインはできるだけまっすぐ描きます。		
単一で描かれた曲線は認識しますが、複数の曲線で構成されている場合、図形に変換する事ができません。		
いろいろな矢印を図形に変換する事ができますが、場合によっては変換できない事があります。		

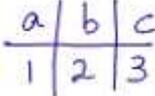
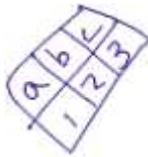
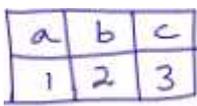
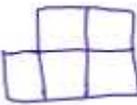
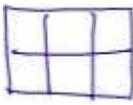
<p>矢印の頭の大きさに注意します。直線の長さより大きくならないようにします。</p>		
---	--	---

一つの図形を描き終わってから、もう一つの図形を描いて下さい。

 図形を描く場合、ラインの数に制限はありません。ただラインが多いと、形状変換の正確さに影響が出ます。

3.9 表作成の秘訣

MyScript Notes は文書に表(内容を含む)を作成する事ができます。正確に作成しないと、罫線の乱れや、不完全なセルになります。そのため、変換設定ボタン > コンテンツのタイプ > 図形文字にて「文字 + 形状」モードを使用します。

秘訣	 悪い例	 よい例
<p>表は外側の罫線まで描きます。内容の間には線を描いてはいけません。</p>		
<p>ラインは水平ラインと垂直ラインのみを使用します。斜線を使用すると変換の際に誤認識されます。</p>		
<p>表の行と列は同じにします。空白のセルは含みません。</p>		

4. 訂正

4.1 変換したノートを編集する

手書きの文書が正確に認識されていない場合、あるいはフォントや間隔が元の文書と違う場合は、簡単に編集し直す事ができます。

混合テキスト形式(文字&形状及びフリードローイング)でノートを変換する場合は、「**図形&文字**」タブを使用します。いずれのモードを使用する場合も、右側の「訂正」ウィンドウにおいて、編集します。

リッチテキスト形式の訂正 及び 体裁を整える

- 文章を変換した後、訂正ウィンドウにおいて「**リッチテキスト**」タブをクリックします。
- 訂正ウィンドウにおいて、編集する部分を選択します。一般のワープロと同様に、削除、文字の追加、移動等の編集ができます。

訂正ウィンドウ内のアイコンの説明

フォントサイズの変更		
12 ▼		
文字の装飾		
太字	斜体字	下線
		
各段落の文章の配置		
左揃え	中央揃え	右揃え
		
カラー	箇条書き	
		

「図形&文字」形式での文字の訂正

- 文章を変換した後、訂正ウィンドウにおいて、「**図形&文字**」タブをクリックします。
- 訂正ウィンドウにおいて、編集を行う文字部をクリックして選択します。
- 必要に応じて文字の内容を訂正します。内容に間違いがなければ「Enter」キーを押します。
- 訂正が完了したら、「**保存**」ボタン  をクリックしてファイルを保存します。

フォントサイズの変更

このツールはノートファイル全体のフォントサイズを変更します。混合テキスト形式にも使用可能です。

- ▶ 訂正ウィンドウにおいて、必要に応じて、「**図形&文字**」タブをクリックして起動させます。
- ▶ ツールバーの「フォントのサイズ」 のリストを開きます。
- ▶ 必要なフォントサイズを選択すると訂正ウィンドウ内のすべてのフォントサイズが変更されます。
- ▶ 新しいフォントサイズを保存する場合は、ファイルを保存します。
- ▶ 訂正ウィンドウにおいて、「リッチテキスト」タブで文字編集の方法を設定します。この方式はテキストのみの結果に適用されます。

4.2 パーソナル辞書の管理

MyScript Notes にはパーソナル辞書機能があります。よく使用する単語、混同しやすい単語等を追加する事ができます。例えば、固有名詞、専門用語、略称など、パーソナル辞書に保存する事により、認識率が増します。

単語の追加

➡ パーソナル辞書に単語を追加する場合は、 ボタンを押す、または「パーソナル辞書」をクリックします。

➡ 「パーソナル辞書」の「...を追加」ボタンをクリックします。



➡ ダイアログボックスを呼び出して、新しい単語を追加し「確定」ボタンをクリックします。
EzyTech, Lisa Matthews, Milton Vista のような、いくつかの単語の集まりを追加する事もできます。
その時は、単語と単語の間を空けてください。

➡ 完了後は「確定」ボタンをクリックし、「パーソナル辞書」のダイアログを閉じます。

自動変更機能の追加

ふだん手書きで文章を書いている時に使用する言葉を、リストにしたり、簡略化したりして、自動変更機能を追加する事ができます。頭文字で言葉全部を代表する事が可能です。例：Lisa Matthews を LAM とする。

➡ 「自動的に置き換え」の「...を追加」をクリックすると、パーソナル辞書に「自動変更」機能を追加する事ができます。



- ▶ 「自動変更」の新規ボタンをクリックします。
- ▶ ダイアログボックスの、「自動変更」のテキストボックスをクリックし、変更したい文字の略称を入力します。(例:Bts)
- ▶ 次に、テキストボックスに変更したい文字を入力します。(例:Battersea)
- ▶ 「確定」をクリックして、パーソナル辞書に自動変更追加をします。
- ▶ 「確定」をクリックして「パーソナル辞書」を閉じます。

特殊文字の追加-自動変換

MyScript Notes は様々な特殊文字をサポートします。例えば、丸囲み数字「①」、あるいは矢印(←、→)です。他のアプリケーションで使用するためには、特殊文字を ASCII 文字に変換する必要があります。例えば、① は 1) にします。各特殊文字を全て ASCII 文字に対応させる場合は、パーソナル辞書のダイアログボックスから自動変換に設定します。

- ▶ パーソナル辞書の特殊文字を自動変換設定に変更する場合は、パーソナル辞書  のツールボタンをクリックします。



- ▶ ダイアログボックスの「...として」テキストボックスをクリックし、現在の文字の訂正及び置き換えを実行します(例: ① を 1) に置き換える)。
- ▶ 「確定」をクリックすると、新しい特殊文字がパーソナル辞書に自動的に追加されます。

追加した内容の訂正

- 入力した内容を修正する時は、「パーソナル辞書」の  をクリックします。



- 追加リスト(パーソナル用語集あるいは自動変更内容)から、訂正する内容を選択します。
- 「訂正」をクリックします。
- 訂正が完了したら、「確定」ボタンをクリックして確定します。
- 完了後、「確定」をクリックして、「パーソナル辞書」のダイアログボックスを閉じます。

内容の削除

- 内容を削除する場合は、「パーソナル辞書」の  をクリックします。
- 追加リスト(パーソナル用語集、または自動変更内容)から削除する内容を選択します。
- 「削除」をクリックします。
- 「はい」をクリックして、削除を確定します。
- 完了後、「確定」ボタンをクリックして、「パーソナル辞書」のダイアログボックスを閉じます。

4.3 「図形&文字」タブで文字をコピーする

文字や形状、フリードローイングにて変換をしたデータは、行単位で選択してクリップボードにコピーする事ができます。クリップボードにコピーしたデータは他のソフトで使用する事が可能です。

■⇒ ウィンドウに関連するテキストページ及び形状を表示します。

■⇒ 訂正ウィンドウの「図形&文字」タブを押し、「セレクトター」ツールボタン  をクリックして起動させます。

■⇒ 選択する文字範囲をドラッグします。

■⇒ クリップボードにコピーする場合は、「編集 > コピー」か、ショートカットキー **Ctrl + C** にてコピーします。その後、他のアプリケーションに貼り付けて使用する事ができます。

■⇒ 反転して選択する場合は、「編集 > 反転選択」か、ショートカットキー **Ctrl + I** を使用します。

4.4 「リッチテキスト」タブでテキストの選択及びコピー

「リッチテキスト」モードにて、選択した文字をクリップボードに貼り付ける事ができ、他のアプリケーションにて利用する事ができます。

■▶ 必要に応じて、ウィンドウに関連するテキストページを表示します。

■▶ 訂正ウィンドウの「リッチテキスト」タブが使用できる状態であることを確認します。

■▶ ワ - プロと同様に、作業する文書を選択する事ができます。

- 単語を選択する時はダブルクリックします。
- 一行全てを選択する時はトリプルクリックします。
- テキストの一部を選択する時はドラッグします。

■▶ 現在のページ内容を全てコピーする時は、「**編集 > 全て選択**」か、ショートカットキー**Ctrl+A**を使用します。

■▶ クリップボードにコピーする場合は、「**編集 > コピー**」か、ショートカットキー**Ctrl+C**を使用します。



反転させて選択する場合は、「**編集 > 反転表示**」か、ショートカットキー**Ctrl+I**を使用します。

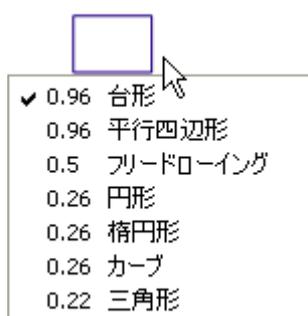
4.5 形状の編集

ノートファイルを編集する際、形状モードを使用した場合、不正確な形状が選択される事があります。その場合、定義済みのリストから使用したい形状を選択し置き換える事ができます。

■▶ 他の形状を選択して置き換える時は、必要に応じてそのページを呼び出して起動します。

■▶ 「訂正」ウィンドウにて「その他の形状を選択」ボタン  をクリックします。

■▶ 変更したい形状を選んでクリックします。



■▶ 開いた形状リストの中から、置き換えたい形状を選択します。各形状の番号は、適切な度合いを示したものです。選択する際の参考の目安にして下さい。

興味のある形状を見つけた時は、「セクター」  をクリックするか、「テキスト編集」ボタン  をクリックして、「その他の形状を選択」機能ボタンを取り消します。

■▶ 必要に応じて、ノートのファイルを保存してください。

5. MYSCRIPT エディター

5.1 MyScript エディターの紹介

MyScript エディターはノートファイルを再編集するツールです。手書きのページを開いて以下の要領で行います。

- 不要な文字や間違いを削除、訂正します。
- 文字の色や太さを再選択し、さらにハイライトで強調できます。
- ノートファイルの過度のスペースを追加、削除する事ができます。

変更後、ノートファイルに再保存します。これらを移動保存する時は、そのファイルを改めて保存してください。時に、その変更が結果に影響する事があります。変更の結果を見たい時は、もう一度「変換」作業をやり直す必要があります。

■▶ 編集するノートのページを表示します。

■▶ MyScript エディターを起動する時は、「変換 > Ink エディター」を呼び出します。

■▶ 画面を拡大/縮小する場合は、「拡大」ボタン  あるいは、「縮小」ボタン  を押した後、ページをクリックします。

■▶ 動作を取り消す時は、「元に戻す」ボタン  をクリックします。取り消した動作をやり直す場合は、「繰り返し」ボタン  をクリックします。

■▶ 「表示」メニューから、拡大/縮小及びツールバー表示を管理できます。

■▶ 必要に応じて編集ツールを選択し、選択が完了したら「更新」をクリックして確定します。

■▶ MyScript エディターのウィンドウを閉じる時は、「ファイル > 終了」あるいは終了ボタンを押してウィンドウを閉じます。

画面が MyScript Notes ウィンドウ画面に戻ります。

5.2 MyScript エディターを使って手書き文書を編集する

MyScript Editor を使用して、左側のウィンドウに表示された手書き文書を修正する事ができます。変更された手書き文書はノートファイルとして保存されます。このファイルを移動させる場合は、改めて保存してください。変更内容によっては、変更の結果に影響する場合があります。結果を見る場合は、もう一度「変換」動作を行う必要があります。

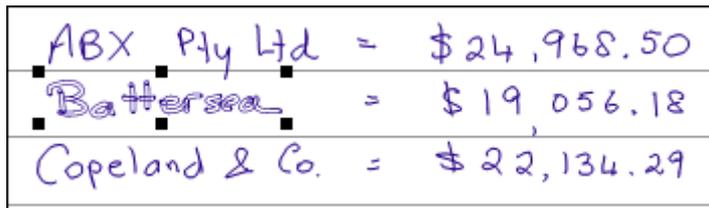
MyScript Editor を起動させて編集する時は、「**変換-手書き文書エディター**」を使用します。

手書き文書の選択

■ 不規則な手書き文書を選択する場合は、「ラッソ」ボタン  をクリックして、選択する文書の近くまでドラッグします。

■ 規則的な文書を選択する場合は、「セレクター」ボタン  をクリックして、選択する文書の近くまでドラッグします。特定の動作を行う場合は、その動作のみを選択します。

「編集-全部選択」あるいは「反転選択」を使用して、反転選択で選択済みあるいは未選択のエリアを選択する事ができます。



選択済みの手書き文書は図のように表示されます。コピーあるいは「削除」キーあるいは「ドラッグ」で手書き文書を削除する事ができます。その一角をドラッグする事でサイズを調節する事もできます。

その他のノートの書き込みあるいはドローイング

■ さらに多くの手書き文書を書き込みあるいはドローイングする場合は、「ペンツール」  を起動させて、その他の文字やオブジェクトを追加します。

■ 「ペンツール」は手書き文書の色を変えたり、太字にしたりする事ができます。この機能を起動させる時は、ツールボタンの矢印をクリックします。

使いたいオプションを選択してクリックします。

「太字」を選択すると、変換した文字が太字で表示されます。

「その他の色」を選択すると、ウィンドウズカラーパレットが表示されます。

ノートの表示をハイライトする

■▶ ノートに色を塗る場合は、「ハイライト」ツール  を起動させて、強調する文書の範囲までドラッグします。

■▶ 「ハイライト」はハイライトした文字の色を変えたり、太字にしたりする事ができます。この機能を起動させる時は、ツールボタンの矢印をクリックします。

使いたいオプションを選択してクリックします。

「その他の色」を選択すると、ウィンドウズカラーパレットが表示されます。

ノートの内容を消す

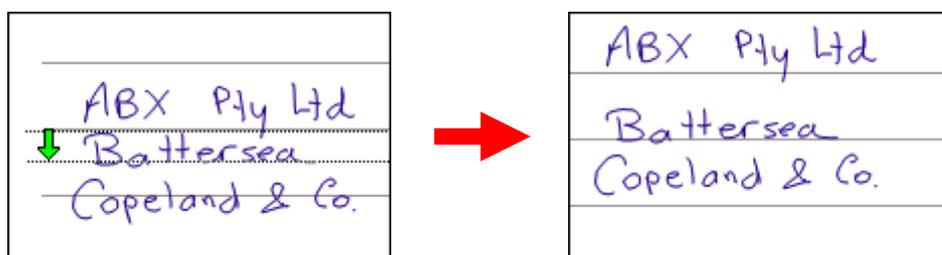
■▶ ノートの一部分を消す場合は、「消しゴム」ツール  を起動させて、消したい文書の範囲までドラッグします。

ノートのスペース(間隔と配列)

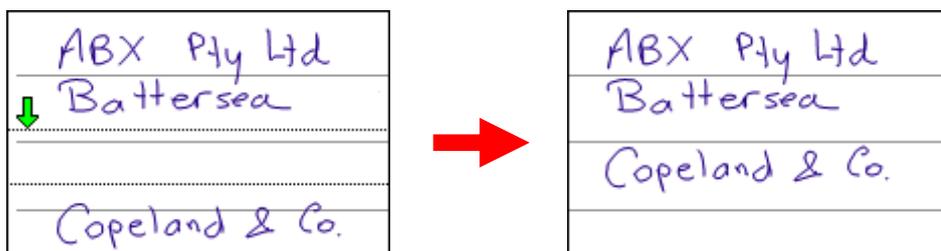
■▶ ノートの文書の間隔や配列を変更する場合は、「間隔と配列」ツール  を起動させます。

■▶ ポインタで変更したい位置を示し、各行の間隔を狭める時は上に向かってドラッグ、各行の間隔を広げる時は下に向かってドラッグします。

下に向かってドラッグすると行間が広がります。



上に向かってドラッグすると行間が狭くなります。



変更の確認

- 手書き文書の変更が完了して、「更新済み」ボタンをクリックすると、MyScript Notes 画面に戻ります。
- 手書き文書の変更が完了し、保存しない場合は、MyScript Editor の「ファイル > 閉じる」を使用し、「いいえ」をクリックします。
- 手書き文書の変更を永久に保存する場合は、「ファイル > 保存」か、ショートカットキーCtrl+S を使用して保存します。

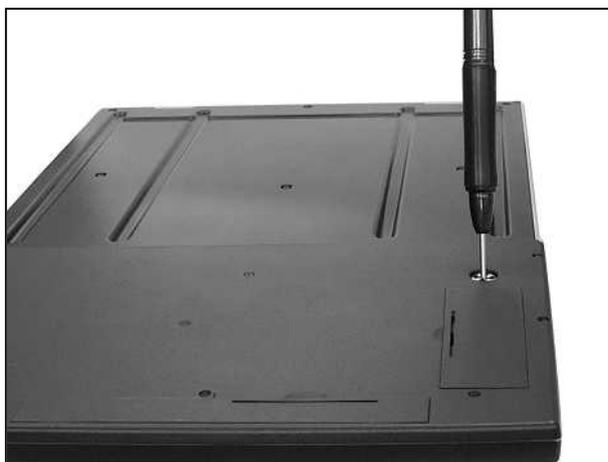
巻末

デジタルインクペンの替え芯の交換

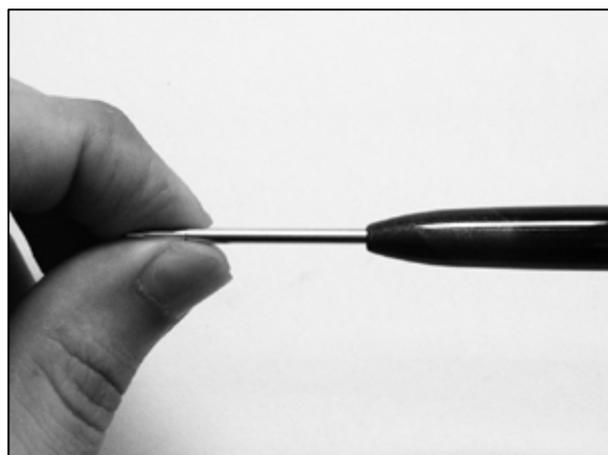
本体裏面の左側に予備交換カートリッジが収納され、リリースホルダーが用意されています。



1. デジタルインクペンを垂直に立てて、リリースホルダーの真ん中にインクカートリッジの先端を挿入してください。



2. リリースホルダーの中にペン先をやさしく押し込んでください。



3. ペン先からインクカートリッジを引き抜いてください。
4. 新しいインクカートリッジを挿入して、それが所定の位置に収まるまで、硬いものに押し当ててください。

お取り扱いの注意事項

本製品を正しくご利用いただくために、次の項目にご注意ください。

- ・ 長時間使用しない場合は本体から電池を取り外して保管してください。
- ・ 本製品の上に重いものや磁気を帯びたものを乗せないでください。
- ・ 本製品を磨く場合は、中性洗剤をご利用ください。
- ・ 強い衝撃、乱暴な取り扱いを避けてください。
- ・ 本体の表面を引っかいたりして、傷をつけないよう十分ご注意ください。
- ・ 高温または寒冷な温度でのご使用は避けてください。
- ・ 湿度の高い場所でのご使用は避けてください。
- ・ デジタルインクペンや本製品を、分解・改造しないでください。
- ・ 強い電磁波を発生する場所でのご利用は避けてください。

用語の解説

デジタルノートパッド

専用ペン（デジタルインクペン）の軌跡を記憶し、デジタルデータに変換、記憶する装置です。紙媒体に書き込まれた手書きの文章・図形をデジタル処理することで、半永久的な保存、劣化のない複製、場所をとらない保管が実現できます。直感的なアナログ入力（手書き）と正確なデジタル保存を融合した、デジタル文房具です。

デジタルインクペン

Technote 専用のインクペンです。インクカートリッジは市販品を使用できます。デジタルページは本インクペンでしか作成できません。ペントブレット・モード時には、タブレットペンとして機能します。

デジタルページ（拡張子 .dnt）

手書き内容 1 ページ分をデジタル処理して記憶したデータファイルです。専用アプリケーション「The Digital Organizer」で閲覧、編集、保存を行ないます。

文書ブック

デジタルページを収納する論理フォルダです。最大 99 個の文書ブックを管理できます。例えば文書ブック番号 01 を「取引先打ち合わせ」、文書ブック番号 02 を「ミーティング」、文書ブック番号 03 を「アイデア」のように区分します。区分した文書ブック番号で新規デジタルページを作成すれば、パソコンで編集管理するときに大変便利です。

内蔵フラッシュメモリー

作成したデジタルページを保存する、Technote 本体に内蔵されたリライト可能なメモリです。無通電状態でもデータを保持できます。パソコン接続時はリムーバブルディスクとして認識されますが、デジタルページの保存以外の用途にご使用にならないでください。

ペンタブレット

ペンタブレット（またはグラフィックタブレット）は、フォトレタッチ、ドローイングなどを支援する、手書き入力デバイス（PC 周辺機器）です。

技術仕様

製品仕様

型番	TN-A442
読取方式	電磁誘導方式
外形寸法(W × D × H)	332 × 249 × 16mm
質量	580g(電池を除く)
書込可能範囲	204 × 263 mm
書込可能紙厚	最大 7mm
解像度	2000 LPI
レポートレート	最高 200 レポート/秒
記録媒体	内蔵メモリ(32MB)
使用電池	単 4 形アルカリ乾電池 4 個
消費電力	60mW ± 15mW
電源電圧 / 消費電流	3V / 20mA ± 5mA
電池耐久時間	約 100 時間
節電機能	あり、自動的に休止モード

デジタルインクペン仕様

型番	P46 黒、P46 青、P46 赤 *
外形寸法	全長：145mm 最大径：16mm
質量	12g(電池含む)
使用電池	1.4V ボタン電池(PR48)
電池耐久時間	約 100 時間
インクカートリッジ	全長：67mm 最大径：2.3mm

* P46 青、P46 赤はオプションです。

対応ファイル形式

手書きデータファイル形式	DNT
変換可能汎用ファイル形式	PDF, JPG, BMP

『 Technote 』 取扱説明書 v2.0

2009年 5月 第二版発行

発行 有限会社 海連

©2007 KAIREN Co.Ltd.,All rights reserved.

問合せ先 : 有限会社 海連

〒359-1115 埼玉県所沢市御幸町 11-1

<http://www.kairen.co.jp/>

TEL. 04-2928-6836 FAX. 04-2929-6297 E - MAIL. support@kairen.co.jp